

平成17年社会医療診療行為別調査結果の概況

目 次

調査の概要	1頁
結果の概要	
I 診療行為・調剤行為の状況	
〔医科診療〕	
1 診療行為の状況	3
2 一般医療と老人医療別にみた診療行為の状況	5
3 病院と診療所別にみた診療行為の状況	7
4 傷病分類別にみた1日当たり点数の状況	9
〔歯科診療〕	
5 診療行為の状況	10
6 一般医療と老人医療別にみた診療行為の状況	11
7 傷病分類別にみた1日当たり点数の状況	12
〔院外処方〕	
8 院外処方率	12
〔薬局調剤〕	
9 調剤行為の状況	13
II 薬剤の使用状況	
〔薬剤料の比率〕	
1 薬剤料の比率	14
〔医科診療〕	
2 入院外の投薬における薬剤点数の状況	15
3 入院外の投薬における薬価階級別薬剤点数の状況	16
4 入院外の投薬における薬剤種類数の状況	17
5 薬効分類別にみた薬剤使用の状況（入院・入院外）	18
〔薬局調剤〕	
6 薬剤点数の状況	19
7 薬価階級別薬剤点数の状況	20
8 薬剤種類数の状況	21
9 薬効分類別にみた薬剤使用の状況	22
統計表	23
用語の定義	32

平成17年社会医療診療行為別調査の結果は、厚生労働省のホームページにも掲載しています。
ホームページアドレス(<http://www.mhlw.go.jp/>)

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、政府管掌健康保険(以下「政管健保」という。)、組合管掌健康保険(以下「組合健保」という。)及び国民健康保険(以下「国保」という。)における医療の給付の受給者にかかる診療行為の内容、傷病の状況、調剤行為の内容及び薬剤の使用状況等を明らかにし、医療保険行政に必要な基礎資料を得ることを目的とした。

2 調査の範囲

各都道府県の社会保険診療報酬支払基金支部(以下「支払基金支部」という。)及び国民健康保険団体連合会(以下「国保団体連合会」という。)において、審査決定された政管健保、組合健保及び国保の一般医療及び老人医療の医科診療及び歯科診療の診療報酬明細書及び調剤報酬明細書(以下「明細書」という。)を調査の対象とした。

調査の客体は、第一次抽出単位を保険医療機関及び保険薬局とし、第二次抽出単位を明細書とする層化無作為二段抽出法により抽出された明細書とした。

	施設数	明細書件数		
		総数	一般医療	老人医療
医科	10 836	377 213	218 458	158 755
病院	1 180	127 185	72 313	54 872
診療所	9 656	250 028	146 145	103 883
歯科	956	29 973	17 620	12 353
調剤	4 127	76 093	40 246	35 847

3 調査の時期

平成17年6月審査分

4 調査の事項

診療報酬明細書 …… 年齢、傷病名、診療実日数、診療行為別点数・回数及び薬剤の使用状況(薬品名・使用量等)等

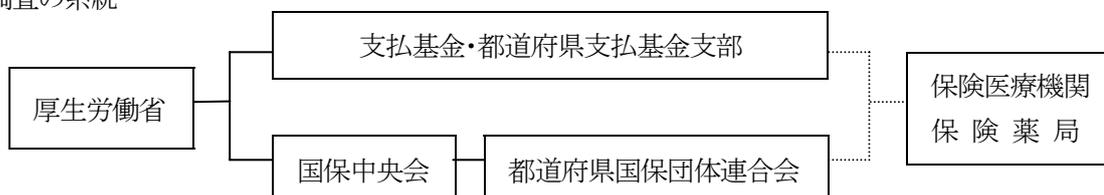
調剤報酬明細書 …… 年齢、処方せん受付回数、調剤行為別点数・回数及び薬剤の使用状況(薬品名・使用量等)等

5 調査の方法及び系統

(1) 調査の方法

支払基金支部及び国保団体連合会が、調査の対象となった保険医療機関及び保険薬局の明細書から別に定める抽出率により抽出を行い、その写しを厚生労働省大臣官房統計情報部に提出する方法により行った。

(2) 調査の系統



6 結果の集計

集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行った。

7 利用上の注意

(1) 表章記号の規約

計数のない場合	—	数値が表章単位に満たない場合	0.0
統計項目のありえない場合	•	負数の場合	△

(2) 掲載の数値は四捨五入のため、内訳の合計が総数に合わない場合がある。

(3) この概況に掲載の数値は、政管健保、組合健保及び国保における平成 17 年6月審査分の全国推計数である。

(4) 診断群分類による包括評価制度(DPC)について

17 年調査実施時点では、大学病院の本院、国立がんセンター及び国立循環器病センターの計 82 施設及びDPC試行的適用の対象病院 62 施設(16 年調査時点では8施設)において、医科一般病棟の入院について診断群分類における包括評価請求が行われている。

注) 診療行為分類「診断群分類による包括評価等」には、包括評価の所定点数に、特定入院料に関する加算及び未実施減算を含む。

結果の概要

I 診療行為・調剤行為の状況

〔医科診療〕

1 診療行為の状況

(1) 入院における1件当たり点数は 37,583.2 点で、前年に比べ 1,716.4 点、4.8%増加している。

1日当たり点数は 2,252.1 点で、前年に比べ 84.8 点、3.9%増加している。診療行為別にみると、「入院料等」1,277.5 点(構成割合 56.7%)が最も高く、次いで「手術」254.6 点(11.3%)、「注射」157.2 点(7.0%)の順となっている。

1件当たり日数は 16.69 日で、前年に比べ 0.14 日増加している。(表 1、図 1)

表 1 診療行為別にみた入院の1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数

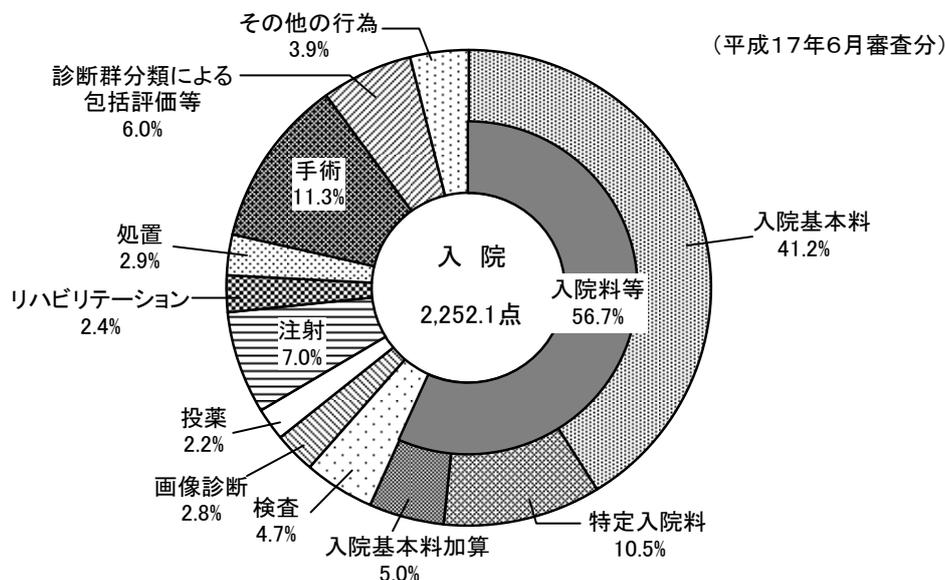
(各年6月審査分)

診療行為	1件当たり点数				1日当たり点数			
	平成17年	平成16年	対前年比		平成17年	平成16年	対前年比	
			増加点数	増加率(%)			増加点数	増加率(%)
総数	37 583.2	35 866.7	1 716.4	4.8	2 252.1	2 167.3	84.8	3.9
初診・再診	48.9	49.0	△ 0.1	△ 0.2	2.9	3.0	△ 0.0	△ 1.0
指導管理等	329.3	311.0	18.3	5.9	19.7	18.8	0.9	5.0
在宅医療	60.0	55.8	4.2	7.5	3.6	3.4	0.2	6.6
検査	1 776.8	1 790.2	△ 13.4	△ 0.7	106.5	108.2	△ 1.7	△ 1.6
画像診断	1 034.8	1 025.9	8.9	0.9	62.0	62.0	0.0	0.0
投薬	829.7	811.0	18.7	2.3	49.7	49.0	0.7	1.5
注射	2 624.1	2 270.7	353.5	15.6	157.2	137.2	20.0	14.6
リハビリテーション	894.8	875.0	19.8	2.3	53.6	52.9	0.7	1.4
精神科専門療法	166.0	186.2	△ 20.2	△ 10.8	9.9	11.2	△ 1.3	△ 11.6
処置	1 108.5	1 093.6	14.9	1.4	66.4	66.1	0.3	0.5
手術	4 248.9	4 096.2	152.7	3.7	254.6	247.5	7.1	2.9
麻酔	711.8	598.1	113.7	19.0	42.7	36.1	6.5	18.0
放射線治療	165.6	88.4	77.2	87.4	9.9	5.3	4.6	85.8
入院料等	21 319.2	21 047.0	272.2	1.3	1 277.5	1 271.8	5.7	0.5
診断群分類による包括評価等	2 264.7	1 568.6	696.1	44.4	135.7	94.8	40.9	43.2
(1件当たり日数)	(16.69)	(16.55)						
入院時食事療養(単位:円)	33 600	33 409	191	0.6	2 013	2 019	△ 5	△ 0.3

注: 1) 「総数」には「入院時食事療養」を含まない。

2) 「診断群分類による包括評価等」の対象は、平成17年144施設、平成16年90施設である。

図 1 診療行為別にみた入院の1日当たり点数の構成割合



注: 「その他の行為」は、「初・再診」「指導管理等」「在宅医療」「精神科専門療法」「麻酔」及び「放射線治療」である。

(2) 入院外における1件当たり点数は1,258.4点で、前年に比べ17.9点、1.4%減少している。

1日当たり点数は678.9点で、前年に比べ1.8点、0.3%減少している。診療行為別にみると、「投薬」154.4点(構成割合22.7%)が最も高く、次いで「初・再診」129.1点(19.0%)、「検査」108.0点(15.9%)の順となっている。

1件当たり日数は1.85日で、前年に比べ0.02日減少している。(表2、図2)

表2 診療行為別にみた入院外の1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数

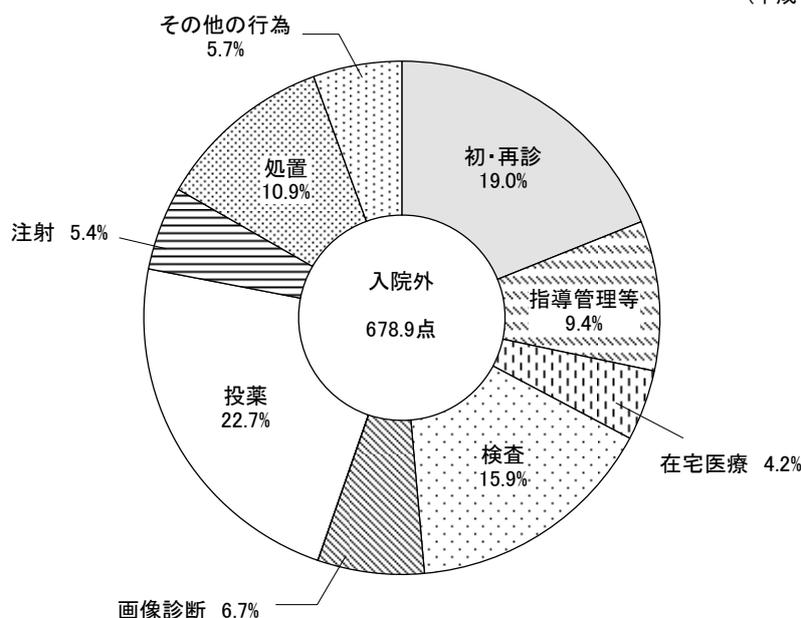
(各年6月審査分)

診療行為	1件当たり点数					1日当たり点数						
	平成17年	平成16年	対前年比		平成17年	平成16年	対前年比					
			増加点数	増加率(%)			増加点数	増加率(%)				
総数	1 258.4	1 276.3	△	17.9	△	1.4	678.9	680.6	△	1.8	△	0.3
初・再診	239.3	237.7		1.6		0.7	129.1	126.8		2.3		1.8
指導管理等	118.7	126.8	△	8.1	△	6.4	64.0	67.6	△	3.6	△	5.3
在宅医療	53.1	56.3	△	3.2	△	5.8	28.6	30.0	△	1.4	△	4.7
検査	200.2	202.7	△	2.5	△	1.2	108.0	108.1	△	0.1	△	0.1
画像診断	84.0	81.4		2.7		3.3	45.3	43.4		1.9		4.5
投薬	286.1	288.3	△	2.2	△	0.8	154.4	153.7		0.6		0.4
注射	68.1	64.4		3.7		5.7	36.8	34.4		2.4		7.0
リハビリテーション	11.8	11.2		0.6		5.2	6.4	6.0		0.4		6.4
精神科専門療法	26.0	25.1		0.9		3.6	14.0	13.4		0.6		4.8
処置	137.4	147.8	△	10.4	△	7.1	74.1	78.8	△	4.7	△	6.0
手術	26.5	25.0		1.5		6.1	14.3	13.3		1.0		7.3
麻酔	4.1	6.2	△	2.1	△	33.8	2.2	3.3	△	1.1	△	33.0
放射線治療	3.0	3.3	△	0.2	△	7.4	1.6	1.7	△	0.1	△	6.4
(1件当たり日数)	(1.85)	(1.88)										

注:「総数」には「入院料等(短期滞在手術基本料1)」を含む。

図2 診療行為別にみた入院外の1日当たり点数の構成割合

(平成17年6月審査分)



注:「その他の行為」は、「リハビリテーション」「精神科専門療法」「手術」「麻酔」「放射線治療」及び「入院料等」である。

2 一般医療と老人医療別にみた診療行為の状況

(1) 入院における1件当たり点数は、一般医療 35,280.3 点、老人医療 40,113.5 点となっている。

1日当たり点数は、一般医療 2,448.3 点、老人医療 2,090.2 点で、年齢階級別にみると、「0～14 歳」3,599.8 点が最も高く、次いで「15～39 歳」2,420.9 点となっており、「80 歳以上」1,959.2 点が最も低くなっている。診療行為別の構成割合をみると、老人医療は、一般医療と比べ「入院料等」「処置」の割合が高く、「診断群分類による包括評価等」「手術」の割合は低くなっている。

1件当たり日数は、一般医療 14.41 日、老人医療 19.19 日となっている。(表3、図3)

表3 一般医療 - 老人医療 - 年齢階級別にみた入院の診療行為別
1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数

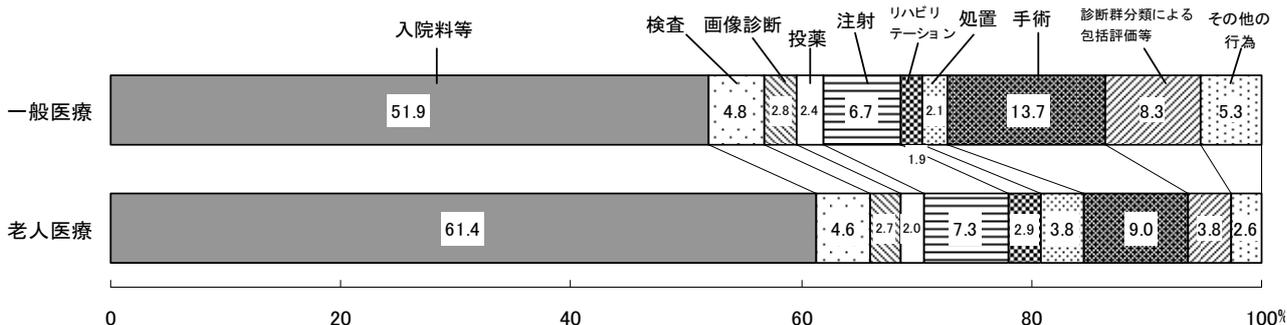
(平成17年6月審査分)

診療行為	一般医療	老人医療	年齢階級				
			0～14歳	15～39歳	40～69歳	70～79歳	80歳以上
総数	35 280.3	40 113.5	26 407.8	26 513.7	38 932.9	41 408.6	39 175.1
初診・再診	57.7	39.2	116.4	79.2	40.0	37.5	44.2
指導管理	348.9	307.8	148.0	326.4	383.8	358.2	272.7
在宅医療	43.6	77.9	9.0	15.9	58.3	93.9	58.9
検査	1 709.0	1 851.4	910.2	1 301.0	1 907.5	2 141.9	1 646.2
画像診断	978.4	1 096.7	311.7	664.1	1 103.0	1 283.2	1 020.3
投薬	864.0	792.0	248.3	590.8	1 036.6	935.6	688.2
注射	2 359.0	2 915.4	2 090.5	1 733.7	2 459.4	2 956.0	2 999.7
リハビリテーション	656.2	1 157.0	96.3	325.0	820.1	1 108.9	1 192.9
精神科専門療法	238.1	86.7	3.7	233.1	296.1	113.2	57.3
処置	747.6	1 505.0	542.6	679.8	932.2	1 449.5	1 308.5
手術	4 841.4	3 597.9	2 225.4	3 368.3	5 297.5	5 275.2	2 735.2
麻酔	944.8	455.7	1 163.6	940.6	866.9	762.9	274.3
放射線治療	232.0	92.6	16.3	42.8	321.9	166.9	47.0
入院料等	18 319.3	24 615.3	15 718.2	13 946.0	20 367.5	22 314.3	25 814.0
診断群分類による包括評価等	2 940.1	1 522.5	2 807.3	2 266.8	3 041.8	2 411.2	1 015.4
総日数	2 448.3	2 090.2	3 599.8	2 420.9	2 303.0	2 365.0	1 959.2
初診・再診	4.0	2.0	15.9	7.2	2.4	2.1	2.2
指導管理	24.2	16.0	20.2	29.8	22.7	20.5	13.6
在宅医療	3.0	4.1	1.2	1.5	3.5	5.4	2.9
検査	118.6	96.5	124.1	118.8	112.8	122.3	82.3
画像診断	67.9	57.1	42.5	60.6	65.2	73.3	51.0
投薬	60.0	41.3	33.9	53.9	61.3	53.4	34.4
注射	163.7	151.9	285.0	158.3	145.5	168.8	150.0
リハビリテーション	45.5	60.3	13.1	29.7	48.5	63.3	59.7
精神科専門療法	16.5	4.5	0.5	21.3	17.5	6.5	2.9
処置	51.9	78.4	74.0	62.1	55.1	82.8	65.4
手術	336.0	187.5	303.4	307.6	313.4	301.3	136.8
麻酔	65.6	23.7	158.6	85.9	51.3	43.6	13.7
放射線治療	16.1	4.8	2.2	3.9	19.0	9.5	2.3
入院料等	1 271.3	1 282.6	2 142.6	1 273.4	1 204.8	1 274.4	1 291.0
診断群分類による包括評価等	204.0	79.3	382.7	207.0	179.9	137.7	50.8
1件当たり日数	14.41	19.19	7.34	10.95	16.90	17.51	20.00
入院時食事療養(単位:円)							
1件当たり金額	29 106	38 537	12 781	20 940	34 978	35 245	39 945
1日当たり金額	2 020	2 008	1 742	1 912	2 069	2 013	1 998

注: 1) 「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。
2) 「総数」には「入院時食事療養」を含まない。

図3 一般医療 - 老人医療別にみた入院の診療行為別1日当たり点数の構成割合

(平成17年6月審査分)



注: 「その他の行為」は、「初・再診」「指導管理等」「在宅医療」「精神科専門療法」「麻酔」及び「放射線治療」である。

(2) 入院外における1件当たり点数は、一般医療 1,122.0 点、老人医療 1,656.5 点となっている。

1日当たり点数は、一般医療 657.0 点、老人医療 726.6 点で、年齢階級別にみると、「40～69 歳」756.4 点が最も高く、次いで「70～79 歳」692.3 点となっており、「0～14 歳」493.4 点が最も低くなっている。診療行為別の構成割合をみると、老人医療は、一般医療と比べ「在宅医療」「処置」の割合が高く、「初・再診」「検査」の割合は低くなっている。

1件当たり日数は、一般医療 1.71 日、老人医療 2.28 日となっている。(表4、図4)

表4 一般医療 - 老人医療 - 年齢階級別にみた入院外の診療行為別
1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数

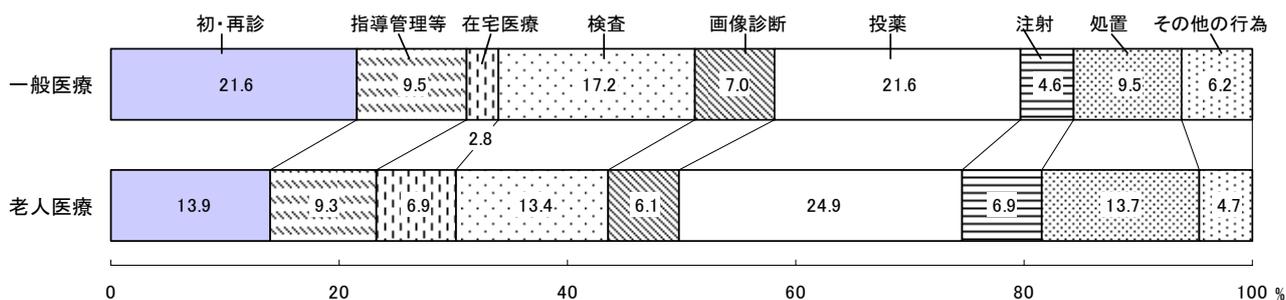
(平成17年6月審査分)

診療行為	一般医療	老人医療	年齢階級				
			0～14歳	15～39歳	40～69歳	70～79歳	80歳以上
1 件 当 た り 点 数							
総数	1 122.0	1 656.5	795.3	889.1	1 370.3	1 508.8	1 575.5
初・再診	242.5	230.1	313.8	247.6	218.3	226.9	230.8
指導管理	106.4	154.7	145.1	29.9	124.3	148.9	152.3
在宅医療	31.8	115.0	33.8	18.5	40.8	66.6	158.4
検査	192.8	221.9	89.5	205.4	219.3	229.0	208.3
画像診断	78.0	101.6	30.5	67.3	94.5	108.2	95.0
投薬	242.7	412.9	113.8	163.8	309.2	390.2	427.2
注射	52.0	115.1	6.5	23.5	82.2	95.6	117.7
リハビリテーション	8.9	20.1	5.7	4.6	11.7	20.2	15.5
精神科専門療法	29.6	15.5	2.1	52.2	30.9	15.4	16.5
処置	106.4	227.7	36.5	48.2	204.5	161.2	120.6
手術	25.5	29.6	17.8	26.2	28.4	31.0	22.5
麻酔	2.6	8.5	0.2	1.3	3.2	9.3	6.9
放射線治療	2.8	3.6	-	0.7	3.2	6.3	3.4
1 日 当 た り 点 数							
総数	657.0	726.6	493.4	598.7	756.4	692.3	683.7
初・再診	142.0	100.9	194.7	166.7	120.5	104.1	100.2
指導管理	62.3	67.9	90.0	20.1	68.6	68.3	66.1
在宅医療	18.6	50.4	21.0	12.5	22.5	30.5	68.7
検査	112.9	97.4	55.5	138.3	121.1	105.1	90.4
画像診断	45.7	44.6	19.0	45.3	52.2	49.7	41.2
投薬	142.1	181.1	70.6	110.3	170.6	179.0	185.4
注射	30.5	50.5	4.0	15.8	45.4	43.9	51.1
リハビリテーション	5.2	8.8	3.5	3.1	6.4	9.3	6.7
精神科専門療法	17.3	6.8	1.3	35.1	17.0	7.1	7.2
処置	62.3	99.9	22.6	32.4	112.9	74.0	52.3
手術	14.9	13.0	11.0	17.6	15.7	14.2	9.8
麻酔	1.5	3.7	0.2	0.9	1.8	4.2	3.0
放射線治療	1.6	1.6	-	0.4	1.8	2.9	1.5
1 件 当 た り 日 数							
	1.71	2.28	1.61	1.48	1.81	2.18	2.30

注: 1)「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。
2)「総数」には「入院料等(短期滞在手術基本料)」を含む。

図4 一般医療 - 老人医療別にみた入院外の診療行為別1日当たり点数の構成割合

(平成17年6月審査分)



注:「その他の行為」は、「リハビリテーション」「精神科専門療法」「手術」「麻酔」「放射線治療」及び「入院料等」である。

3 病院と診療所別にみた診療行為の状況

(1) 入院における1件当たり点数は、病院 39,043.8 点、診療所(有床)16,094.7 点となっている。

1日当たり点数は、病院 2,301.6 点、診療所(有床)1,274.0 点で、病院について種類別にみると、「特定機能病院」4,153.1 点が最も高く、次いで「一般病院」2,983.4 点となっており、「精神病院」1,083.9 点が最も低くなっている。診療行為別の構成割合をみると、「療養病床を有する病院」は、「一般病院」と比べ「入院料等」の割合が高くなっている。

1件当たり日数は、病院 16.96 日、診療所(有床)12.63 日となっている。(表5、図5)

表5 病院 - 診療所(有床)別にみた入院の診療行為別1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数

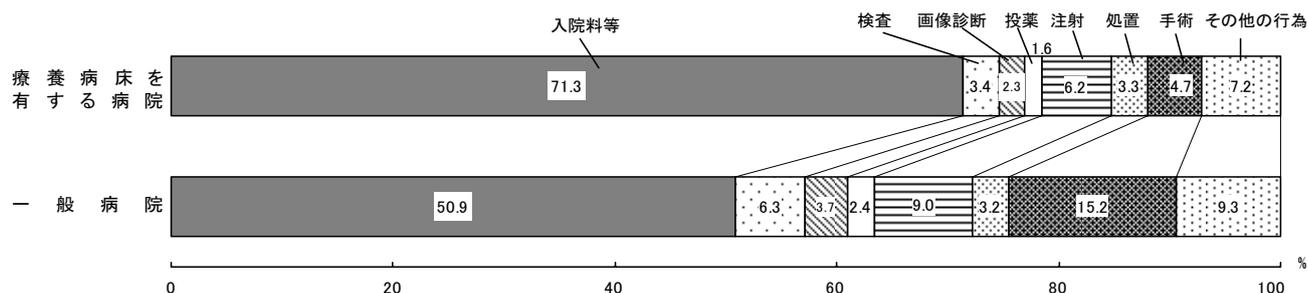
(平成17年6月審査分)

診療行為	病院					診療所(有床)
	総数	精神病院	特定機能病院	療養病床を有する病院	一般病院	
	1 件 当 た り 点 数					
総数	39 043.8	31 394.1	53 550.6	38 923.9	39 028.0	16 094.7
初・再診	50.4	5.4	51.9	41.8	63.5	27.4
指導管理	342.7	156.3	324.6	295.6	406.6	132.5
在宅医療	62.0	0.1	76.7	45.9	81.3	30.2
検査	1 824.8	425.6	983.7	1 305.9	2 472.8	1 071.1
画像診断	1 081.2	87.1	351.4	884.5	1 456.8	352.0
投薬	846.5	1 211.1	579.8	617.0	937.6	582.1
注射	2 713.2	268.0	1 270.8	2 407.4	3 498.1	1 314.2
リハビリテーション	940.1	25.1	344.5	1 692.0	743.2	227.7
精神科専門療法	176.9	1 359.5	37.9	63.2	34.8	6.1
処置	1 106.6	157.0	469.6	1 299.4	1 240.8	1 135.6
手術	4 332.8	1.7	10 438.6	1 848.6	5 929.7	3 013.9
麻酔	736.5	0.1	1 632.5	340.6	1 007.8	347.6
放射線治療	176.8	-	630.7	95.7	208.9	0.1
入院料等	22 234.4	27 696.1	4 972.7	27 765.4	19 847.6	7 853.7
診断群分類による包括評価等	2 418.6	-	31 384.9	220.6	1 098.4	-
	1 日 当 た り 点 数					
総数	2 301.6	1 083.9	4 153.1	1 893.8	2 983.4	1 274.0
初・再診	3.0	0.2	4.0	2.0	4.9	2.2
指導管理	20.2	5.4	25.2	14.4	31.1	10.5
在宅医療	3.7	0.0	6.0	2.2	6.2	2.4
検査	107.6	14.7	76.3	63.5	189.0	84.8
画像診断	63.7	3.0	27.3	43.0	111.4	27.9
投薬	49.9	41.8	45.0	30.0	71.7	46.1
注射	159.9	9.3	98.6	117.1	267.4	104.0
リハビリテーション	55.4	0.9	26.7	82.3	56.8	18.0
精神科専門療法	10.4	46.9	2.9	3.1	2.7	0.5
処置	65.2	5.4	36.4	63.2	94.9	89.9
手術	255.4	0.1	809.6	89.9	453.3	238.6
麻酔	43.4	0.0	126.6	16.6	77.0	27.5
放射線治療	10.4	-	48.9	4.7	16.0	0.0
入院料等	1 310.7	956.2	385.7	1 350.9	1 517.2	621.7
診断群分類による包括評価等	142.6	-	2 434.0	10.7	84.0	-
	1 件 当 た り 日 数					
	16.96	28.96	12.89	20.55	13.08	12.63
入院時食事療養(単位:円)						
1件当たり金額	34 503	62 446	24 739	43 071	25 374	20 302
1日当たり金額	2 034	2 156	1 919	2 096	1 940	1 607

注: 1) 病院の「総数」には、結核療養所を含む。
2) 「総数」には「入院時食事療養」を含まない。

図5 療養病床を有する病院 - 一般病院別にみた入院の診療行為別1日当たり点数の構成割合

(平成17年6月審査分)



注: 「その他の行為」は、「初・再診」「指導管理等」「在宅医療」「リハビリテーション」「精神科専門療法」「麻酔」「放射線治療」及び「診断群分類による包括評価等」である。

(2) 入院外における1件当たり点数は、病院 1,447.9 点、診療所 1,164.5 点となっている。

1日当たり点数は、病院 885.7 点、診療所 593.5 点で、病院について種類別にみると、「特定機能病院」1,148.5 点が最も高く、次いで「一般病院」947.4 点となっており、「療養病床を有する病院」739.2 点が最も低くなっている。診療行為別の構成割合をみると、診療所は、病院と比べ「初・再診」「指導管理等」の割合が高く、「画像診断」「検査」の割合は低くなっている。

1件当たり日数は、病院 1.63 日、診療所 1.96 日となっている。(表6、図6)

表6 病院 - 診療所別にみた入院外の診療行為別1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数

(平成17年6月審査分)

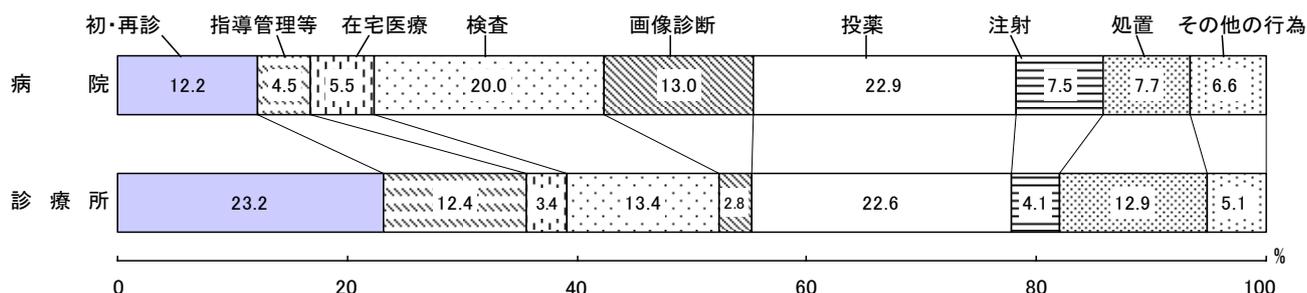
診療行為	病 院					診療所
	総 数	精神病院	特 定 機 能 病 院	療 養 病 床 を 有 す る 病 院	一 般 病 院	
	1 件 当 た り 点 数					
総 数	1 447.9	1 670.1	1 510.5	1 438.0	1 436.9	1 164.5
初・再診	177.1	158.2	122.7	209.9	169.5	270.2
指 導 管 理 等	65.8	36.4	43.0	80.1	63.2	144.9
在 宅 医 療	80.3	6.0	138.3	55.1	87.7	39.6
検 査	290.1	60.2	397.2	221.6	316.8	155.7
画 像 診 断	187.6	10.4	225.4	143.5	209.5	32.7
投 薬	332.1	559.3	296.9	417.4	290.0	263.3
注 射	108.2	12.1	152.6	78.3	120.0	48.3
リハビリテーション	17.6	0.4	5.3	29.0	14.6	8.9
精 神 科 専 門 療 法	31.9	825.4	23.3	15.9	9.9	23.1
処 置	111.2	0.6	28.8	151.7	106.8	150.3
手 術	33.7	0.2	43.1	29.2	35.9	23.0
麻 酔	3.2	0.7	4.8	5.0	2.3	4.5
放 射 線 治 療	9.1	-	28.8	1.2	10.7	0.0
	1 日 当 た り 点 数					
総 数	885.7	796.8	1 148.5	739.2	947.4	593.5
初・再診	108.3	75.5	93.3	107.9	111.8	137.7
指 導 管 理 等	40.3	17.4	32.7	41.2	41.7	73.8
在 宅 医 療	49.1	2.9	105.2	28.3	57.8	20.2
検 査	177.4	28.7	302.0	113.9	208.9	79.4
画 像 診 断	114.8	5.0	171.4	73.7	138.1	16.7
投 薬	203.2	266.9	225.7	214.6	191.2	134.2
注 射	66.2	5.8	116.0	40.3	79.1	24.6
リハビリテーション	10.8	0.2	4.1	14.9	9.6	4.5
精 神 科 専 門 療 法	19.5	393.8	17.7	8.2	6.6	11.8
処 置	68.0	0.3	21.9	78.0	70.4	76.6
手 術	20.6	0.1	32.7	15.0	23.6	11.7
麻 酔	1.9	0.3	3.7	2.6	1.5	2.3
放 射 線 治 療	5.6	-	21.9	0.6	7.1	0.0
	1 件 当 た り 日 数					
	1.63	2.10	1.32	1.95	1.52	1.96

注:1) 病院の「総数」には、結核療養所を含む。

2) 「総数」には「入院料等(短期滞在手術基本料1)」を含む。

図6 病院 - 診療所別にみた入院外の診療行為別1日当たり点数の構成割合

(平成17年6月審査分)



注:「その他の行為」は、「リハビリテーション」「精神科専門療法」「手術」「麻酔」「放射線治療」及び「入院料等」である。

4 傷病分類別にみた1日当たり点数の状況

入院における傷病分類別1日当たり点数は、一般医療、老人医療とも「VII 眼及び付属器の疾患」が最も高く、それぞれ4,279.1点、4,643.7点となっている。

入院外における傷病分類別1日当たり点数は、一般医療、老人医療とも「XIV 尿路性器系の疾患」が最も高く、それぞれ1,689.7点、2,206.6点となっている。(表7)

表7 入院 - 入院外・一般医療 - 老人医療別にみた傷病分類別1日当たり点数

(平成17年6月審査分)

傷病分類	入院		入院外	
	一般医療	老人医療	一般医療	老人医療
総数	2 448.3	2 090.2	657.0	726.6
I 感染症及び寄生虫症	2 635.6	2 335.8	581.4	520.0
II 新生物	3 545.2	3 073.4	1 546.3	1 668.7
気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	3 053.8	2 609.8	2 057.5	1 711.7
乳房の悪性新生物 (再掲)	3 814.0	2 475.0	2 464.2	1 663.9
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3 127.5	2 446.4	810.8	1 087.4
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	2 344.5	1 926.8	904.5	842.5
糖尿病 (再掲)	2 222.4	1 935.4	1 044.3	959.8
V 精神及び行動の障害	1 100.6	1 151.9	657.4	701.9
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 (再掲)	1 061.6	1 006.5	801.8	664.9
VI 神経系の疾患	1 966.7	1 822.9	634.1	648.0
VII 眼及び付属器の疾患	4 279.1	4 643.7	568.9	602.7
白内障 (再掲)	5 011.1	5 288.2	642.6	592.2
VIII 耳及び乳様突起の疾患	3 735.6	1 676.0	400.6	364.4
IX 循環器系の疾患	3 294.4	2 027.4	734.4	705.9
高血圧性疾患 (再掲)	2 085.3	1 559.1	709.4	684.7
虚血性心疾患 (再掲)	9 373.7	2 980.4	842.7	836.7
脳梗塞 (再掲)	2 403.7	1 754.0	857.3	675.9
X 呼吸器系の疾患	2 881.6	2 295.7	476.6	835.3
肺炎 (再掲)	2 787.7	2 332.1	917.0	1 154.3
急性気管支炎及び急性細気管支炎 (再掲)	2 840.6	2 165.5	494.4	483.8
喘息 (再掲)	2 542.3	1 882.4	557.3	982.2
X I 消化器系の疾患	3 200.7	2 330.2	687.1	626.2
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	2 626.1	2 220.6	422.9	390.4
皮膚炎及び湿疹 (再掲)	2 385.1	1 673.8	412.3	368.4
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	2 669.3	1 867.2	377.7	341.6
関節症 (再掲)	2 961.6	2 300.4	340.9	346.0
X IV 尿路性器系の疾患	3 282.0	2 465.1	1 689.7	2 206.6
腎不全 (再掲)	3 310.3	2 495.4	3 282.4	3 093.4
尿路結石症 (再掲)	5 308.9	2 376.7	1 126.1	1 059.8
X V 妊娠、分娩及び産じょく	2 557.7	-	552.2	-
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	2 734.7	2 122.4	492.9	473.6
骨折 (再掲)	2 776.3	2 109.6	538.3	455.3
その他の傷病	3 671.1	2 054.4	690.9	573.3

注:1) 傷病分類は、「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正」(ICD-10)を準用した。

2) 「その他の傷病」は、「周産期に発生した病態」「先天奇形、変形及び染色体異常」及び「症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの」である。

〔歯科診療〕

5 診療行為の状況

1件当たり点数は、1,362.7点で、前年に比べ38.5点、2.7%減少している。

1日当たり点数は、599.1点で、前年に比べ18.9点、3.1%減少している。診療行為別にみると、「歯冠修復及び欠損補綴」272.0点（構成割合45.4%）が最も高く、次いで「処置」97.0点（16.2%）、「初・再診」85.0点（14.2%）の順となっている。

1件当たり日数は2.27日で、前年に比べ0.01日増加している。（表8、図7）

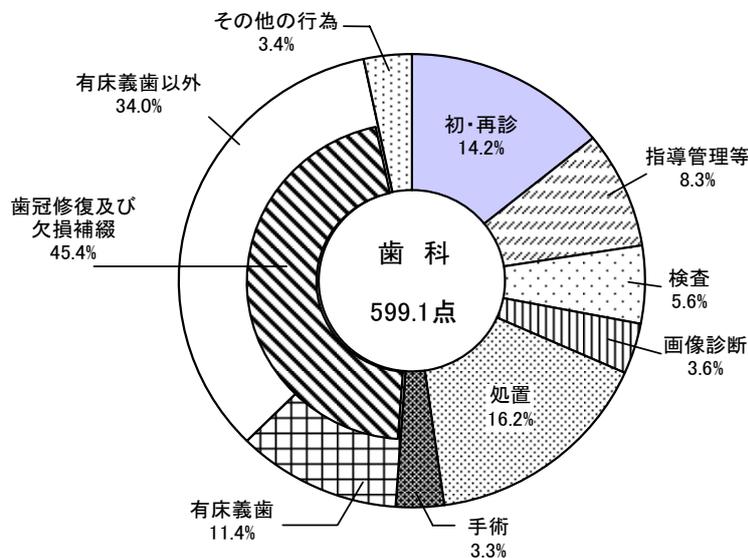
表8 診療行為別にみた1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数

（各年6月審査分）

診療行為	1件当たり点数				1日当たり点数			
	平成17年	平成16年	対前年比		平成17年	平成16年	対前年比	
			増加点数	増加率(%)			増加点数	増加率(%)
総数	1,362.7	1,401.2	△ 38.5	△ 2.7	599.1	618.0	△ 18.9	△ 3.1
初・再診	193.2	191.9	1.3	0.7	85.0	84.7	0.3	0.3
指導管理等	113.2	114.8	△ 1.5	△ 1.3	49.8	50.6	△ 0.8	△ 1.6
在宅医療	7.4	13.4	△ 6.0	△ 44.9	3.2	5.9	△ 2.7	△ 45.1
検査	75.6	75.8	△ 0.2	△ 0.2	33.3	33.4	△ 0.2	△ 0.5
画像診断	48.9	49.7	△ 0.8	△ 1.6	21.5	21.9	△ 0.4	△ 1.9
投薬	25.4	26.6	△ 1.2	△ 4.6	11.2	11.7	△ 0.6	△ 4.9
注射	1.5	1.3	0.3	22.2	0.7	0.6	0.1	21.8
リハビリテーション	0.2	0.2	0.0	1.7	0.1	0.1	0.0	1.4
処置	220.7	215.7	5.0	2.3	97.0	95.1	1.9	2.0
手術	45.4	53.3	△ 7.9	△ 14.8	19.9	23.5	△ 3.6	△ 15.1
麻酔	3.6	3.4	0.2	6.0	1.6	1.5	0.1	5.7
放射線治療	0.2	0.2	△ 0.0	△ 19.0	0.1	0.1	△ 0.0	△ 19.2
歯冠修復及び欠損補綴	618.7	646.3	△ 27.6	△ 4.3	272.0	285.1	△ 13.1	△ 4.6
歯科矯正	0.9	1.8	△ 0.9	△ 47.8	0.4	0.8	△ 0.4	△ 48.0
入院料等	7.7	6.9	0.8	11.8	3.4	3.1	0.3	11.4
（1件当たり日数）	（2.27）	（2.27）						

図7 診療行為別にみた1日当たり点数の構成割合

（平成17年6月審査分）



注：「その他の行為」は、「在宅医療」「投薬」「注射」「リハビリテーション」「麻酔」「放射線治療」「歯科矯正」及び「入院料等」である。

6 一般医療と老人医療別にみた診療行為の状況

1件当たり点数は、一般医療 1,318.4 点、老人医療 1,663.0 点となっている。

1日当たり点数は、一般医療 588.7 点、老人医療 662.2 点で、年齢階級別にみると、「80 歳以上」716.5 点が最も高く、次いで「70～79 歳」626.9 点となっており、「0～14 歳」457.8 点が最も低くなっている。診療行為別の構成割合をみると、老人医療は、一般医療と比べて「歯冠修復及び欠損補綴」の割合が高く、「処置」の割合が低くなっている。

1件当たり日数は、一般医療 2.24 日、老人医療 2.51 日となっている。(表9、図8)

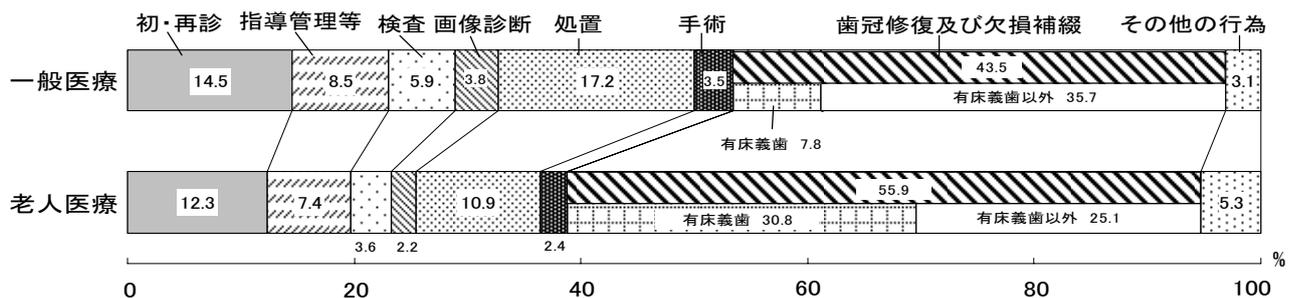
表9 一般医療 - 老人医療 - 年齢階級別にみた診療行為別 1 件当たり点数・1 日当たり点数・1 件当たり日数

診療行為	一般医療	老人医療	年齢階級				
			0～14歳	15～39歳	40～69歳	70～79歳	80歳以上
			1 件 当 た り 点 数				
総初診	1 318.4	1 663.0	808.0	1 302.7	1 444.6	1 616.3	1 700.8
・再診	191.5	204.7	208.0	186.4	188.9	202.8	208.1
指導管理	111.9	122.7	72.3	124.1	116.9	118.9	114.1
在宅医療	1.8	45.4	-	1.9	3.3	15.2	88.3
検査	77.9	60.2	20.1	93.5	85.8	67.6	48.5
画像診断	50.7	36.5	24.6	68.0	49.5	39.8	30.5
投薬	25.6	24.1	8.2	29.1	27.8	27.8	20.5
注射	1.4	2.5	0.1	1.8	1.7	1.6	2.7
リハビリテーション	0.1	0.4	0.2	0.1	0.2	0.3	0.3
処置	226.5	180.8	104.3	263.9	238.5	211.5	142.7
手術	46.1	40.4	23.0	50.3	48.5	48.6	36.6
麻酔	3.8	1.9	2.7	5.7	2.9	3.5	1.8
放射線治療	0.1	0.6	-	0.0	0.2	0.3	0.6
歯冠修復及び欠損補綴	572.9	929.2	337.9	466.5	673.7	868.7	987.3
歯科矯正	1.1	-	3.5	2.0	0.0	-	-
入院料	6.9	13.6	2.9	9.4	6.7	9.6	18.7
		1	日 当 た り 点 数				
総初診	588.7	662.2	457.8	610.7	603.7	626.9	716.5
・再診	85.5	81.5	117.8	87.4	78.9	78.7	87.7
指導管理	49.9	48.8	41.0	58.2	48.9	46.1	48.1
在宅医療	0.8	18.1	-	0.9	1.4	5.9	37.2
検査	34.8	24.0	11.4	43.8	35.9	26.2	20.4
画像診断	22.7	14.5	13.9	31.9	20.7	15.4	12.8
投薬	11.4	9.6	4.7	13.6	11.6	10.8	8.6
注射	0.6	1.0	0.1	0.9	0.7	0.6	1.1
リハビリテーション	0.1	0.2	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1
処置	101.2	72.0	59.1	123.7	99.7	82.0	60.1
手術	20.6	16.1	13.0	23.6	20.3	18.8	15.4
麻酔	1.7	0.8	1.5	2.7	1.2	1.4	0.8
放射線治療	0.1	0.2	-	0.0	0.1	0.1	0.3
歯冠修復及び欠損補綴	255.8	370.0	191.4	218.7	281.5	337.0	415.9
歯科矯正	0.5	-	2.0	0.9	0.0	-	-
入院料	3.1	5.4	1.6	4.4	2.8	3.7	7.9
		1	件 当 た り 日 数				
	2.24	2.51	1.77	2.13	2.39	2.58	2.37

注：「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。

図8 一般医療 - 老人医療別にみた診療行為別 1 日当たり点数の構成割合

(平成17年6月審査分)



7 傷病分類別にみた1日当たり点数の状況

1日当たり点数は、一般医療では「歯の補綴」885.2点が最も高く、次いで「顎の疾患・口内炎等」863.5点となっており、老人医療では「歯の補綴」771.7点、次いで「むしば」733.4点となっている。(表10)

表10 一般医療 - 老人医療別にみた傷病分類別1日当たり点数

(平成17年6月審査分)

傷病分類	一般医療	老人医療
総数	588.7	662.2
むしば	600.8	733.4
歯髄炎等	543.6	610.9
歯根膜炎等	506.4	595.1
歯周炎等	529.6	486.3
顎の疾患・口内炎等	863.5	713.7
歯の補綴	885.2	771.7
その他の傷病	483.7	406.8

注：1) 傷病分類は、「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回改正」(ICD-10)を準用した。
2) 「その他の傷病」は、「歯肉炎等」「その他の歯の疾患」「智歯周囲炎等」「褥瘡性潰瘍等」である。

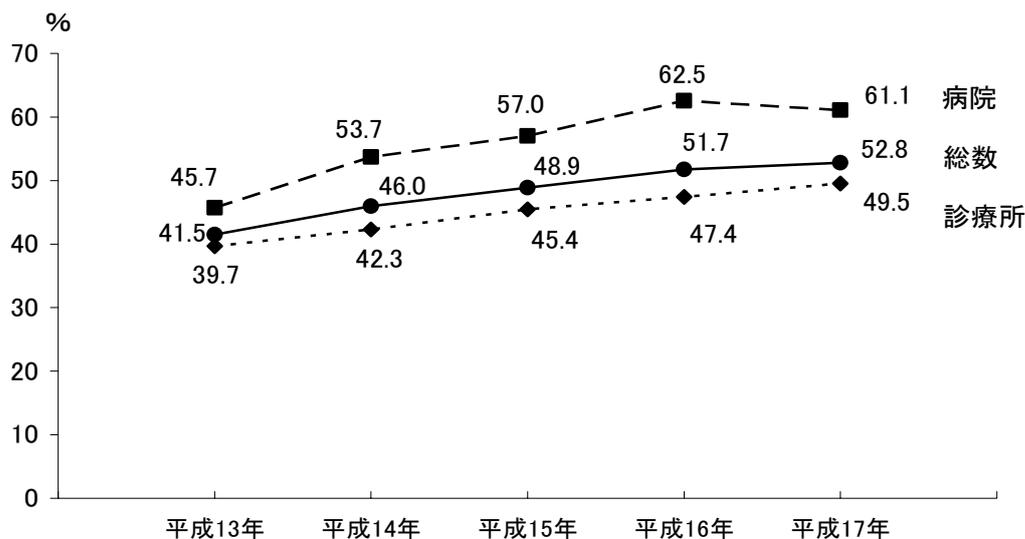
〔院外処方〕

8 院外処方率

医科の入院外における院外処方率は、総数で52.8%となっており、前年(51.7%)に比べ1.1ポイント上昇している。これを病院・診療所別にみると、病院61.1%、診療所49.5%と病院の方が高く、前年に比べ病院では1.5ポイント低下、診療所では2.1ポイント上昇している。(図9)

図9 病院 - 診療所別にみた医科の院外処方率の年次推移

(各年6月審査分)



注：院外処方率とは、「処方料」及び「処方せん料」の合計算定回数に対する「処方せん料」算定回数の割合である。

〔薬局調剤〕

9 調剤行為の状況

1件当たり点数は 961.8 点で、前年に比べ 25.0 点、2.7%増加している。

処方せんの受付1回当たり点数は 672.2 点で、前年に比べ 22.7 点、3.5%増加している。調剤行為別にみると、「薬剤料」482.5 点が最も高く、次いで「調剤技術料」151.9 点、「指導管理料」36.8 点となっている。

1件当たり受付回数は1.43 回で、前年に比べ0.01 回減少している。

一般医療、老人医療別にみると、1件当たり点数は一般医療 825.9 点、老人医療 1,315.6 点、受付1回当たり点数は一般医療 601.0 点、老人医療 833.9 点となっており、いずれも老人医療が高くなっている。受付1回当たり点数の調剤行為別の構成割合をみると、一般医療、老人医療ともに「薬剤料」の割合が約7割となっている。(表11・12、図10)

表 1 1 調剤行為別にみた 1 件当たり点数・受付 1 回当たり点数・1 件当たり受付回数

(各年6月審査分)

調 剤 行 為	1 件 当 ち 点 数				受 付 1 回 当 ち 点 数			
	平成17年	平成16年	対前年比		平成17年	平成16年	対前年比	
			増加点数	増加率(%)			増加点数	増加率(%)
総 数	961.8	936.9	25.0	2.7	672.2	649.6	22.7	3.5
調 剤 技 術 料	217.3	217.1	0.2	0.1	151.9	150.5	1.4	0.9
指 導 管 理 料	52.7	54.0	△ 1.3	△ 2.3	36.8	37.4	△ 0.6	△ 1.6
薬 剤 料	690.4	664.2	26.2	4.0	482.5	460.5	22.0	4.8
特定保険医療材料料 (1件当たり受付回数)	1.3 (1.43)	1.4 (1.44)	△ 0.1	△ 9.9	0.9	1.0	△ 0.1	△ 9.1

表 1 2 一般医療 - 老人医療 - 年齢階級別にみた調剤行為別 1 件当たり点数・
受付 1 回当たり点数・1 件当たり受付回数

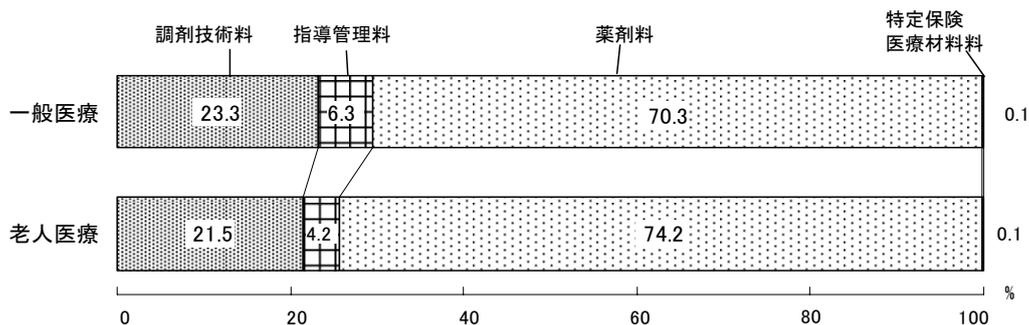
(平成17年6月審査分)

調 剤 行 為	総 数	一般医療	老人医療	年 齢 階 級				
				0～14歳	15～39歳	40～69歳	70～79歳	80歳以上
1 件 当 ち 点 数								
総 数	961.8	825.9	1 315.6	481.3	610.6	995.6	1 247.6	1 331.3
調 剤 技 術 料	217.3	192.2	282.7	181.9	153.8	206.4	258.0	303.5
指 導 管 理 料	52.7	51.8	54.9	61.0	49.3	49.8	53.5	56.0
薬 剤 料	690.4	580.7	976.0	238.3	406.2	737.9	933.9	970.7
特定保険医療材料料	1.3	1.2	1.6	0.1	1.3	1.5	1.9	0.7
受 付 1 回 当 ち 点 数								
総 数	672.2	601.0	833.9	322.8	478.9	728.5	824.9	815.3
調 剤 技 術 料	151.9	139.8	179.2	122.0	120.7	151.0	170.6	185.9
指 導 管 理 料	36.8	37.7	34.8	40.9	38.7	36.4	35.4	34.3
薬 剤 料	482.5	422.5	618.7	159.8	318.6	540.0	617.4	594.5
特定保険医療材料料	0.9	0.8	1.0	0.0	1.0	1.1	1.2	0.4
1 件 当 ち 受 付 回 数								
	1.43	1.37	1.58	1.49	1.27	1.37	1.51	1.63

注: 「総数」、「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。

図 1 0 一般医療 - 老人医療別にみた調剤行為別受付 1 回当たり点数の構成割合

(平成17年6月審査分)



II 薬剤の使用状況

〔薬剤料の比率〕

1 薬剤料の比率

医科総点数に占める薬剤料の割合は、総数で 22.1%、入院 12.3%、入院外 33.5%となっており、そのうち、「投薬」及び「注射」で使用された薬剤料の割合は、それぞれ、19.8%、10.4%、30.6%となっている。

前年と比較すると、医科総点数に占める薬剤料の割合は、総数で 0.5 ポイント、入院で 0.9 ポイント、入院外で 0.3 ポイント上昇している。

歯科総点数に占める薬剤料の割合は、総数で 1.1%となっている。

薬局調剤総点数に占める薬剤料の割合は、総数で 71.8%となっており、前年に比べ、0.9 ポイント上昇している。

また、薬局調剤分を医科、歯科それぞれに合算して求めた薬剤料の割合は、医科総数で 28.7%、歯科総数で 1.3%となっている。(表13)

表13 医科(入院 - 入院外) - 歯科 - 薬局調剤別薬剤料の比率の年次推移

(単位: %)

(各年6月審査分)

		平成13年 (2001)	14 (2002)	15 (2003)	16 (2004)	17 (2005)	医科-歯科-薬局調剤分 (調剤明細書)を含めた場合			
							平成15年	16	17	
医 科	総 数									
	薬剤料	22.5	21.6	22.2	21.6	22.1	27.6	27.5	28.7	
	投薬・注射	19.9	18.9	19.6	19.2	19.8	25.5	25.3	26.8	
	投薬	14.7	13.6	13.9	13.7	13.9	20.6	20.7	21.7	
	注射	5.2	5.3	5.7	5.4	5.9	4.9	4.6	5.1	
	その他の薬剤料	2.6	2.7	2.6	2.5	2.4	2.1	2.2	1.9	
	入 院									
	薬剤料	11.8	12.0	12.0	11.3	12.3	12.0	11.3	12.3	
	投薬・注射	9.4	9.7	9.8	9.4	10.4	9.8	9.4	10.4	
	投薬	2.5	2.6	2.6	2.5	2.5	2.6	2.5	2.5	
	注射	7.0	7.1	7.1	6.9	7.9	7.1	6.9	7.9	
	その他の薬剤料	2.4	2.3	2.2	2.0	1.9	2.2	2.0	1.9	
	入 院 外									
	薬剤料	34.0	33.4	34.5	33.2	33.5	36.6	35.8	37.0	
	投薬・注射	31.0	30.2	31.5	30.2	30.6	34.6	33.5	35.1	
	投薬	27.7	27.1	27.4	26.4	27.0	30.9	30.1	31.5	
	注射	3.3	3.1	4.1	3.8	3.6	3.7	3.4	3.6	
	その他の薬剤料	2.9	3.2	3.0	3.0	2.9	2.0	2.3	1.9	
歯 科	薬剤料	1.0	0.9	1.0	1.0	1.1	1.2	1.2	1.3	
薬 局 調 剤	薬剤料	67.5	67.8	70.0	70.9	71.8				

注: 1) 「処方せん料」を算定している明細書、「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書及びDPCIに係る明細書は除外してある。ただし、「薬局調剤分(調剤明細書)」を含めた場合」は「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書及びDPCIに係る明細書のみ除外してある。

2) 「薬局調剤分(調剤明細書)」を含めた場合」では、薬局調剤分の総点数、薬剤料を医科、歯科にそれぞれ合算している。

3) 「薬剤料」とは、総点数に占める「投薬」「注射」及びその他の診療行為の中の薬剤料の割合である。ただし、「薬局調剤分(調剤明細書)」を含めた場合」では、薬局調剤分の内服薬及び外用薬を「投薬」に、注射薬を「注射」に合算している。

4) 「その他の薬剤料」とは、総点数に占める、「在宅医療」「検査」「画像診断」「リハビリテーション」「精神科専門療法」「処置」「手術」及び「麻酔」の中で使用された薬剤料の割合である。

5) 入院時食事療養費(円)は、点数換算(入院時食事療養費÷10)して総点数に含めている。

〔医科診療〕

2 入院外の投薬における薬剤点数の状況

薬剤点数別件数の構成割合は、「500点未満」が一般医療73.9%、老人医療51.4%と、最も多くなっている。「500～1000点未満」は一般医療15.2%、老人医療23.3%、「1000点以上」はそれぞれ11.0%、25.3%となっている。

後発医薬品の出現した明細書の割合は、一般医療 43.1%、老人医療 53.6%となっており、一般医療に比べ老人医療の割合が高くなっている。(表14、図11)

表14 一般医療 - 老人医療 - 年齢階級別にみた薬剤点数階級別件数の構成割合 (入院外・投薬)

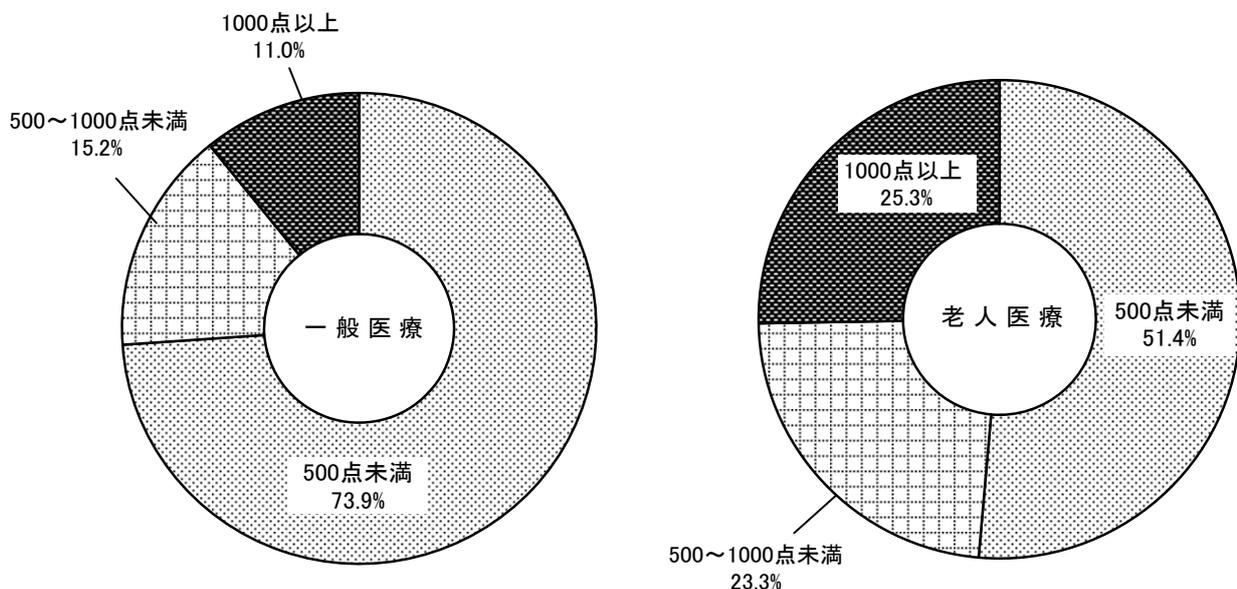
(単位:%) (平成17年6月審査分)

	総数	500点未満						500～1000	1000～1500	1500～2000	2000点以上	総件数に占める後発医薬品が出現した明細書の割合(再掲)	
		総数	100点未満	100～200未満	200～300	300～400	400～500						
総数	100.0 (100.0)	67.7 (68.0)	25.8 (25.0)	16.7 (16.8)	11.6 (12.0)	7.4 (7.7)	6.3 (6.6)	17.4 (18.2)	7.1 (7.0)	3.5 (2.9)	4.2 (3.9)	46.0 (47.8)	
一般医療	100.0 (100.0)	73.9 (74.2)	29.5 (28.8)	18.7 (18.9)	12.3 (12.7)	7.2 (7.3)	6.1 (6.4)	15.2 (15.7)	5.6 (5.4)	2.4 (2.0)	3.0 (2.9)	43.1 (44.7)	
老人医療	100.0 (100.0)	51.4 (53.5)	16.0 (16.0)	11.3 (11.6)	9.6 (10.2)	7.7 (8.6)	6.7 (7.1)	23.3 (24.3)	11.2 (10.8)	6.5 (5.1)	7.6 (6.2)	53.6 (55.3)	
年齢階級	0～14歳	100.0	94.1	52.8	22.2	10.7	5.5	2.9	4.3	1.2	0.2	0.2	45.5
	15～39歳	100.0	87.1	38.9	24.3	13.0	6.3	4.5	8.6	2.2	0.9	1.2	42.6
	40～69歳	100.0	65.3	21.0	16.1	12.9	7.7	7.6	19.5	7.6	3.4	4.2	41.8
	70～79歳	100.0	54.0	16.9	12.0	9.7	8.5	6.8	23.6	10.4	5.7	6.3	51.4
	80歳以上	100.0	50.0	15.5	11.4	9.5	7.0	6.6	23.3	11.5	6.8	8.5	55.6

注:1) 「投薬」の出現する明細書(ただし「処方せん料」を算定している明細書及び「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書は除く。)を集計の対象としている。
 2) 「総数」、「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。
 3) ()内は平成16年6月審査分

図11 一般医療 - 老人医療別にみた薬剤点数別件数の構成割合 (入院外・投薬)

(平成17年6月審査分)



3 入院外の投薬における薬価階級別薬剤点数の状況

薬価階級別薬剤点数の構成割合は、「250円未満」が一般医療80.5%、老人医療84.7%と、最も多くなっている。「250～500円未満」は一般医療6.7%、老人医療5.5%、「500円以上」はそれぞれ9.4%、6.3%となっている。

後発医薬品の点数の割合は、一般医療 7.7%、老人医療 8.5%となっており、一般医療に比べ老人医療の割合が高くなっている。(表15、図12)

表15 一般医療 - 老人医療 - 年齢階級別にみた薬価階級別薬剤点数の構成割合 (入院外・投薬)

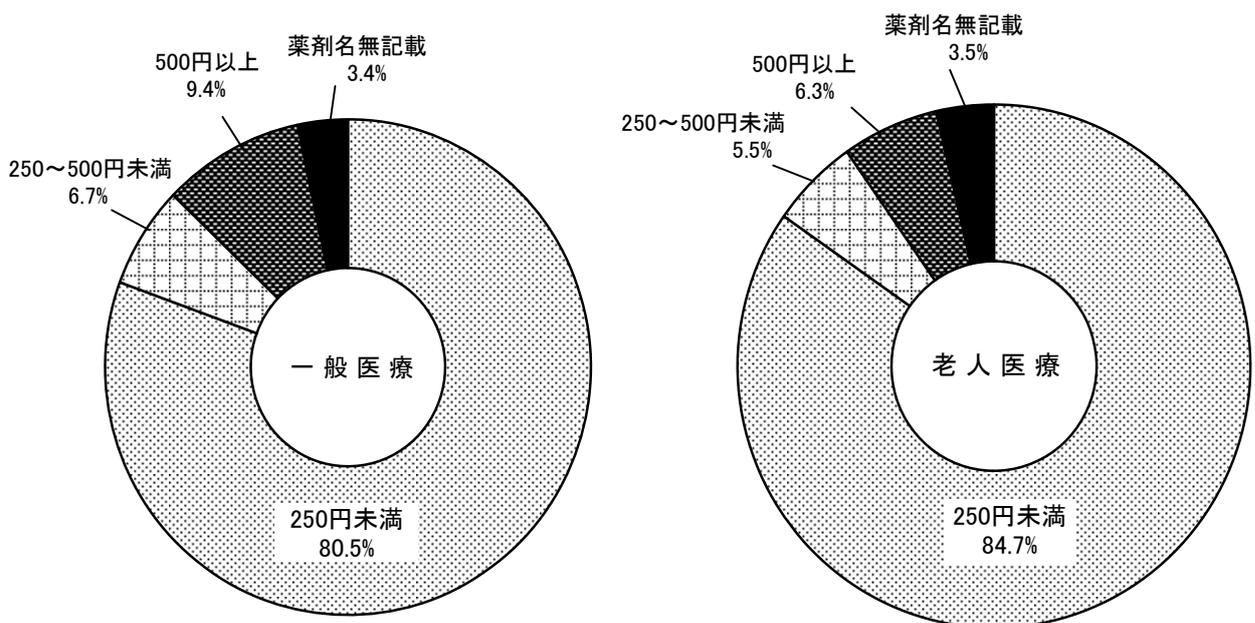
(単位:%) (平成17年6月審査分)

	総数	250円未満					250～500	500円以上	薬剤名無記載	薬剤点数に占める後発医薬品の点数の割合(再掲)		
		総数	50円未満	50～100円未満	100～150	150～200					200～250	
総数	100.0 (100.0)	82.1 (82.0)	29.4 (31.4)	24.5 (24.3)	10.6 (10.4)	12.5 (10.5)	5.2 (5.4)	6.2 (6.1)	8.2 (8.3)	3.4 (3.5)	8.0 (7.8)	
一般医療	100.0 (100.0)	80.5 (80.9)	27.6 (29.9)	24.5 (24.6)	10.8 (10.6)	12.7 (10.4)	4.9 (5.3)	6.7 (6.6)	9.4 (9.0)	3.4 (3.5)	7.7 (7.6)	
老人医療	100.0 (100.0)	84.7 (83.7)	32.1 (33.4)	24.5 (23.8)	10.3 (10.1)	12.1 (10.6)	5.6 (5.7)	5.5 (5.4)	6.3 (7.4)	3.5 (3.6)	8.5 (8.1)	
年齢階級	0～14歳	100.0	74.1	24.2	21.7	18.7	8.2	1.4	20.8	3.1	2.0	8.9
	15～39歳	100.0	76.2	31.6	18.6	12.6	8.0	5.5	7.5	13.7	2.6	8.0
	40～69歳	100.0	81.6	27.1	25.7	9.8	14.0	5.0	5.4	9.4	3.5	7.5
	70～79歳	100.0	83.7	30.1	25.3	10.2	12.5	5.5	5.7	6.7	3.9	8.2
	80歳以上	100.0	85.3	33.8	23.6	10.8	11.4	5.7	5.9	5.7	3.1	8.9

注:1) 「投薬」の出現する明細書(ただし「処方せん料」を算定している明細書及び「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書は除く。)を集計の対象としている。
 2) 「総数」、「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。
 3) ()内は平成16年6月審査分

図12 一般医療 - 老人医療別にみた薬価階級別薬剤点数の構成割合 (入院外・投薬)

(平成17年6月審査分)



4 入院外の投薬における薬剤種類数の状況

薬剤種類数別件数の構成割合は、一般医療、老人医療とも「1～2種類」が最も多く、それぞれ 48.3%、36.7%となっている。次いで一般医療では「3～4種類」、「5～6種類」、「7種類以上」の順となっており、老人医療では「3～4種類」、「7種類以上」、「5～6種類」の順となっている。

1件当たり薬剤種類数をみると、一般医療3.20、老人医療4.25となっている。(表16、図13)

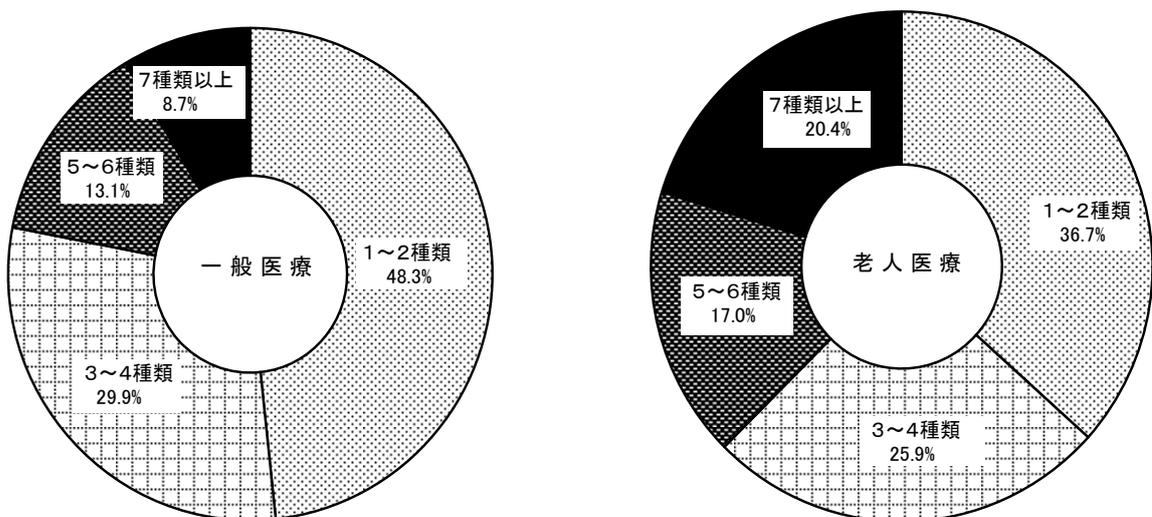
表16 一般医療 - 老人医療 - 年齢階級別にみた薬剤種類数別件数の構成割合・1件当たり薬剤種類数
(入院外・投薬)

		(平成17年6月審査分)											1件当たり薬剤種類数	
		総数	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類	6種類	7種類	8種類	9種類	10種類以上	1件当たり薬剤種類数に占める後発医薬品の種類数(再掲)	
総数		100.0 (100.0)	23.3 (22.3)	21.8 (20.7)	16.6 (16.8)	12.2 (12.5)	8.4 (9.1)	5.8 (6.1)	3.8 (4.1)	2.8 (3.0)	1.9 (1.9)	3.4 (3.6)	3.48 (3.58)	0.76 (0.80)
一般医療		100.0 (100.0)	25.2 (24.6)	23.0 (21.7)	17.3 (17.4)	12.6 (12.7)	8.0 (8.7)	5.2 (5.4)	3.1 (3.3)	2.1 (2.3)	1.4 (1.4)	2.1 (2.4)	3.20 (3.29)	0.68 (0.71)
老人医療		100.0 (100.0)	18.0 (16.6)	18.7 (18.4)	14.8 (15.2)	11.1 (12.0)	9.4 (10.0)	7.6 (7.8)	5.7 (6.0)	4.5 (4.6)	3.3 (3.1)	6.9 (6.2)	4.25 (4.27)	0.97 (0.99)
年齢階級	0～14歳	100.0	24.1	21.0	16.4	13.2	9.9	6.2	4.2	2.6	1.2	1.2	3.29	0.69
	15～39歳	100.0	26.1	22.5	18.2	13.6	8.1	4.9	2.6	1.6	1.0	1.4	3.05	0.66
	40～69歳	100.0	25.8	23.7	16.9	12.0	7.5	5.0	2.9	2.1	1.4	2.7	3.21	0.68
	70～79歳	100.0	19.3	20.8	16.3	11.9	8.7	6.7	5.1	3.7	2.6	5.0	3.88	0.88
	80歳以上	100.0	17.1	17.0	13.8	10.4	9.7	8.3	6.2	5.0	4.3	8.2	4.52	1.07

- 注:1) 「投薬」の出現する明細書(ただし「処方せん料」を算定している明細書及び「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書は除く。)を集計の対象としている。
 2) 薬剤名無記載は、1種類としている。
 3) 「総数」、「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。
 4) ()内は平成16年6月審査分

図13 一般医療 - 老人医療別にみた薬剤種類数別件数の構成割合 (入院外・投薬)

(平成17年6月審査分)



5 薬効分類別にみた薬剤使用の状況（入院・入院外）

一般医療、老人医療別にみた薬効分類別薬剤点数の構成割合は、入院では一般医療、老人医療とも「抗生物質製剤」が最も多く、それぞれ 12.4%、18.2%、入院外では一般医療、老人医療とも「循環器用薬」が最も多く、それぞれ 23.0%、26.6%となっている(表17)。

入院で「抗生物質製剤」を年齢階級別にみると、「70～79 歳」が 28.6%、「80 歳以上」が 34.0%となっている。入院外で「循環器用薬」を年齢階級別にみると、「40～69 歳」が 49.5%、「70～79 歳」が 32.4%となっている(表18)。

表17 一般医療 - 老人医療別にみた薬効分類別薬剤点数の構成割合

(単位:%) (平成17年6月審査分)

	入 院				入 院 外			
	総 数	一般医療	老人医療	後発医薬品 (再掲)	総 数	一般医療	老人医療	後発医薬品 (再掲)
総 数	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	100.0	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	100.0
中枢神経系用薬	8.5 (9.7)	10.0 (11.5)	7.0 (7.9)	4.8	7.3 (8.0)	7.4 (8.6)	7.2 (7.2)	6.7
感覚器用薬	1.2 (1.7)	0.9 (1.2)	1.5 (2.1)	7.9	3.0 (3.1)	2.7 (2.7)	3.5 (3.7)	6.6
循環器用薬	6.9 (8.3)	5.1 (6.0)	8.8 (10.7)	10.1	24.4 (23.6)	23.0 (21.1)	26.6 (27.4)	22.2
呼吸器用薬	0.9 (0.9)	0.8 (0.7)	1.0 (1.0)	0.8	2.1 (2.3)	2.4 (2.7)	1.7 (1.6)	2.9
消化器用薬	5.1 (4.9)	5.7 (5.5)	4.5 (4.3)	6.2	8.0 (8.1)	7.3 (7.4)	9.0 (9.2)	12.4
ホルモン剤	1.6 (1.4)	1.8 (1.6)	1.4 (1.3)	1.4	6.1 (4.6)	6.4 (5.1)	5.5 (4.0)	2.5
外皮用薬	1.1 (1.1)	0.8 (0.9)	1.3 (1.4)	1.3	4.4 (4.2)	4.0 (3.8)	5.1 (4.8)	6.0
ビタミン剤	0.9 (1.0)	0.7 (0.7)	1.2 (1.3)	3.6	2.0 (2.1)	1.5 (1.6)	2.7 (2.8)	9.3
滋養強壮薬	6.2 (6.1)	4.3 (4.3)	8.0 (7.9)	6.1	0.7 (1.4)	0.6 (1.4)	0.9 (1.3)	0.5
血液・体液用薬	8.5 (8.4)	9.0 (8.1)	7.9 (8.7)	21.2	3.7 (3.7)	2.7 (2.9)	5.3 (5.0)	5.8
その他の代謝性医薬品	7.6 (7.6)	7.6 (6.8)	7.7 (8.5)	10.9	10.8 (9.6)	10.2 (8.3)	11.8 (11.6)	5.7
腫瘍用薬	9.0 (6.8)	11.7 (10.6)	6.3 (3.1)	1.7	4.5 (5.3)	4.9 (5.4)	3.9 (5.0)	0.9
アレルギー用薬	0.3 (0.4)	0.3 (0.3)	0.4 (0.4)	0.1	4.2 (3.7)	5.1 (4.5)	2.7 (2.3)	6.2
抗生物質製剤	15.3 (15.7)	12.4 (12.9)	18.2 (18.5)	11.8	3.0 (3.0)	4.2 (4.2)	1.1 (1.1)	1.6
化学療法剤	4.1 (3.1)	3.4 (3.1)	4.7 (3.1)	1.8	3.5 (2.9)	4.6 (3.8)	1.6 (1.5)	5.1
その他の薬効	22.7 (22.7)	25.5 (25.7)	20.0 (19.8)	10.2	9.5 (11.7)	10.1 (13.7)	8.6 (8.5)	5.6

注: 1) 薬剤の出現する明細書(ただし「処方せん料」を算定している明細書、「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書及びDPCIに係る明細書は除く。)を集計の対象としている。

2) 「総数」には、薬剤名無記載を含む。

3) ()内は平成16年6月審査分

4) 「血液・体液用薬」は、生理食塩液等を指す。

5) 「その他の薬効」には、上記分類以外の「泌尿生殖器官及び肛門用薬」、「生物学的製剤」等の分類を含む。

表18 主な薬効分類別にみた年齢階級別薬剤点数の構成割合

(単位:%) (平成17年6月審査分)

	入 院						後発医薬品 (再掲)	入 院 外						後発医薬品 (再掲)
	年 齢 階 級							年 齢 階 級						
	総 数	0～14歳	15～39歳	40～69歳	70～79歳	80歳以上		総 数	0～14歳	15～39歳	40～69歳	70～79歳	80歳以上	
中枢神経系用薬	100.0	1.5	9.9	41.8	25.5	21.3	3.2	100.0	1.0	17.6	39.3	26.0	16.1	6.7
感覚器用薬	100.0	1.1	1.3	28.5	36.5	32.6	38.7	100.0	5.8	10.3	32.1	32.2	19.5	16.0
循環器用薬	100.0	4.6	1.6	27.4	31.7	34.8	8.3	100.0	0.0	1.5	49.5	32.4	16.5	6.7
呼吸器用薬	100.0	16.2	4.6	18.3	33.8	27.1	5.1	100.0	19.3	16.0	31.0	21.5	12.2	10.1
消化器用薬	100.0	1.1	9.7	40.8	28.1	20.2	6.9	100.0	0.8	6.9	41.9	31.9	18.4	11.4
ホルモン剤	100.0	2.4	12.0	38.8	26.2	20.6	4.9	100.0	19.6	12.0	30.9	23.1	14.4	3.0
外皮用薬	100.0	1.3	3.7	30.0	33.8	31.2	6.8	100.0	3.5	10.9	34.3	32.9	18.3	9.9
ビタミン剤	100.0	1.1	5.3	28.4	27.1	38.1	21.6	100.0	0.2	4.1	38.8	35.4	21.5	34.5
滋養強壮薬	100.0	0.9	4.2	26.5	29.9	38.5	5.6	100.0	1.4	6.7	40.1	32.5	19.4	4.6
血液・体液用薬	100.0	4.3	7.8	35.5	27.2	25.2	14.2	100.0	2.1	3.6	34.1	37.4	22.8	11.5
その他の代謝性医薬品	100.0	5.5	5.9	34.4	27.2	27.0	8.1	100.0	0.4	3.4	50.9	32.6	12.7	3.9
腫瘍用薬	100.0	1.4	4.4	50.9	33.5	9.7	1.0	100.0	0.0	6.1	51.7	28.8	13.5	1.5
アレルギー用薬	100.0	6.9	9.1	28.1	31.2	24.7	1.7	100.0	11.7	20.5	38.6	18.1	11.1	10.9
抗生物質製剤	100.0	5.0	7.4	25.0	28.6	34.0	4.4	100.0	33.5	24.4	24.9	11.4	5.8	3.8
化学療法剤	100.0	2.6	6.2	29.8	32.4	29.0	2.5	100.0	4.2	23.5	49.0	16.6	6.7	10.7

注: 1) 薬剤の出現する明細書(ただし「処方せん料」を算定している明細書、「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書及びDPCIに係る明細書は除く。)を集計の対象としている。

2) 「総数」には、年齢不詳を含む。

3) 「血液・体液用薬」は、生理食塩液等を指す。

〔薬局調剤〕

6 薬剤点数の状況

薬剤点数別件数の構成割合は、「500点未満」が一般医療66.7%、老人医療43.5%と、最も多くなっている。「500～1000点未満」は一般医療17.5%、老人医療22.7%、「1000点以上」はそれぞれ15.8%、33.8%となっている。

後発医薬品の出現した明細書の割合は、一般医療35.5%、老人医療47.9%となっており、一般医療に比べ老人医療の割合が高くなっている。(表19、図14)

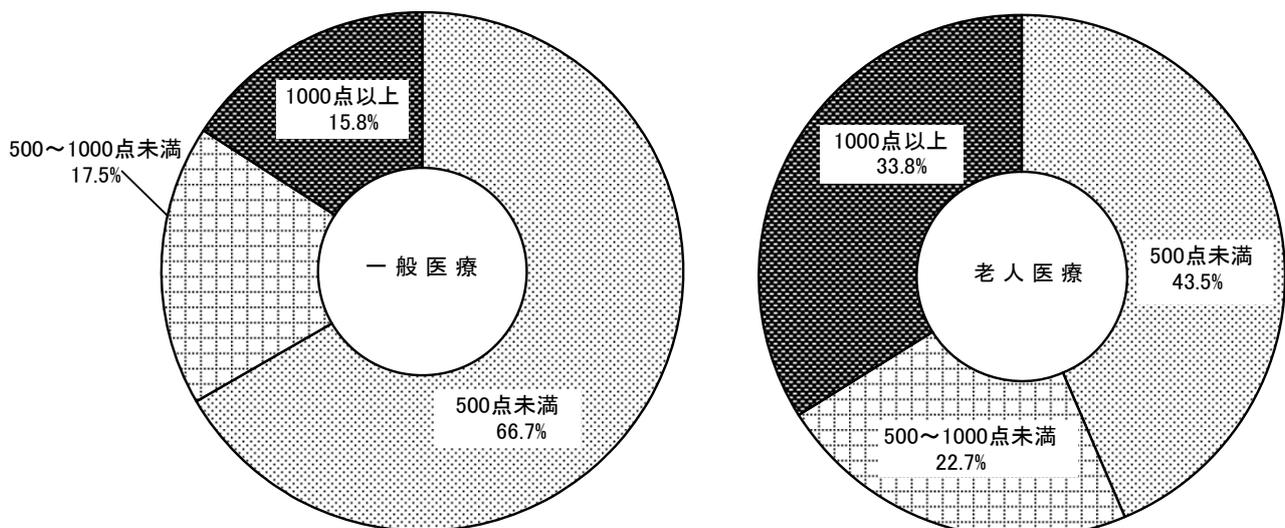
表19 一般医療 - 老人医療 - 年齢階級別にみた薬剤点数階級別件数の構成割合 (薬局調剤)

		(平成17年6月審査分)											
		総数	500点未満						500～1000	1000～1500	1500～2000	2000点以上	総件数に占める後発医薬品が出現した明細書の割合(再掲)
		総数	100点未満	100～200未満	200～300	300～400	400～500						
総	数	100.0 (100.0)	60.3 (61.6)	20.0 (20.6)	15.3 (15.6)	11.1 (11.3)	7.4 (7.7)	6.4 (6.4)	18.9 (18.6)	9.1 (8.8)	4.6 (4.6)	7.1 (6.4)	38.9 (39.1)
一	般 医 療	100.0 (100.0)	66.7 (68.3)	22.6 (23.5)	17.6 (18.0)	12.2 (12.4)	7.8 (7.9)	6.6 (6.5)	17.5 (16.7)	7.3 (6.9)	3.3 (3.5)	5.1 (4.6)	35.5 (35.6)
老	人 医 療	100.0 (100.0)	43.5 (45.0)	13.3 (13.5)	9.4 (9.6)	8.3 (8.6)	6.5 (7.0)	5.9 (6.3)	22.7 (23.2)	13.6 (13.4)	8.0 (7.6)	12.2 (11.0)	47.9 (47.9)
年 齢 階 級	0～14歳	100.0	88.3	41.7	23.0	12.0	6.6	4.9	8.6	2.2	0.5	0.4	43.7
	15～39歳	100.0	78.5	25.8	24.0	14.3	8.4	6.0	13.4	3.9	1.6	2.7	31.7
	40～69歳	100.0	56.7	15.8	14.0	11.8	7.9	7.3	21.6	9.8	4.5	7.3	33.5
	70～79歳	100.0	46.4	14.0	10.2	9.1	6.7	6.5	22.1	13.0	7.3	11.2	45.0
	80歳以上	100.0	41.8	12.8	8.9	7.6	6.7	5.7	23.4	14.0	8.5	12.3	49.7

注: 1) 「総数」、「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。
2) ()内は平成16年6月審査分

図14 一般医療 - 老人医療別にみた薬剤点数別件数の構成割合 (薬局調剤)

(平成17年6月審査分)



7 薬価階級別薬剤点数の状況

薬価階級別薬剤点数の構成割合は、「250円未満」が一般医療80.2%、老人医療84.4%と、最も多くなっている。「250～500円未満」は一般医療7.6%、老人医療6.9%、「500円以上」はそれぞれ12.2%、8.7%となっている。

後発医薬品の点数の割合は、一般医療4.6%、老人医療4.9%となっており、一般医療に比べ老人医療の割合が高くなっている。(表20、図15)

表20 一般医療 - 老人医療 - 年齢階級別にみた薬価階級別薬剤点数の構成割合 (薬局調剤)

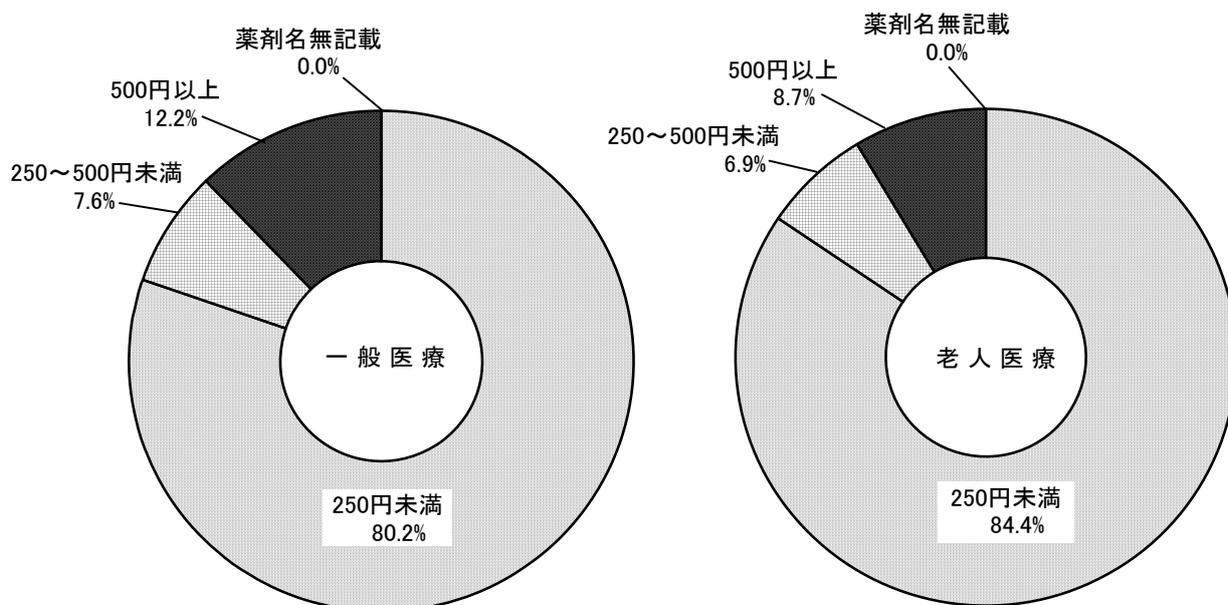
		総数	250円未満					250～500	500円以上	薬剤名無記載	薬剤点数に占める後発医薬品の点数の割合(再掲)	
			総数	50円未満	50～100円未満	100～150	150～200					200～250
総数		100.0 (100.0)	81.8 (81.1)	29.1 (30.1)	24.0 (24.2)	11.4 (11.0)	11.7 (10.4)	5.8 (5.4)	7.3 (8.0)	10.8 (10.9)	0.0 (0.0)	4.7 (4.5)
一般医療		100.0 (100.0)	80.2 (79.4)	27.5 (28.6)	24.2 (24.3)	11.6 (11.0)	11.6 (10.3)	5.3 (5.2)	7.6 (8.5)	12.2 (12.1)	0.0 (0.0)	4.6 (4.2)
老人医療		100.0 (100.0)	84.4 (83.6)	31.5 (32.3)	23.6 (24.0)	11.0 (11.1)	11.8 (10.5)	6.5 (5.7)	6.9 (7.4)	8.7 (9.0)	0.0 (-)	4.9 (5.1)
年齢階級	0～14歳	100.0	74.8	25.6	21.9	20.3	5.8	1.2	17.6	7.6	0.0	6.7
	15～39歳	100.0	78.2	31.9	21.4	12.5	6.8	5.6	8.2	13.6	0.0	4.6
	40～69歳	100.0	80.7	26.8	25.0	10.4	13.0	5.5	6.4	12.9	0.0	4.3
	70～79歳	100.0	83.8	29.8	23.9	11.0	12.7	6.4	6.9	9.2	0.0	4.7
	80歳以上	100.0	85.2	33.0	23.4	11.4	10.7	6.7	7.1	7.7	0.0	5.3

注: 1) 「総数」、「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。

2) ()内は平成16年6月審査分

図15 一般医療 - 老人医療別にみた薬価階級別薬剤点数の構成割合 (薬局調剤)

(平成17年6月審査分)



8 薬剤種類数の状況

薬剤種類数別件数の構成割合は、一般医療、老人医療とも「1～2種類」が最も多く、それぞれ42.5%、33.8%となっている。次いで一般医療では「3～4種類」、「5～6種類」、「7種類以上」の順となっており、老人医療では「3～4種類」、「7種類以上」、「5～6種類」の順となっている。

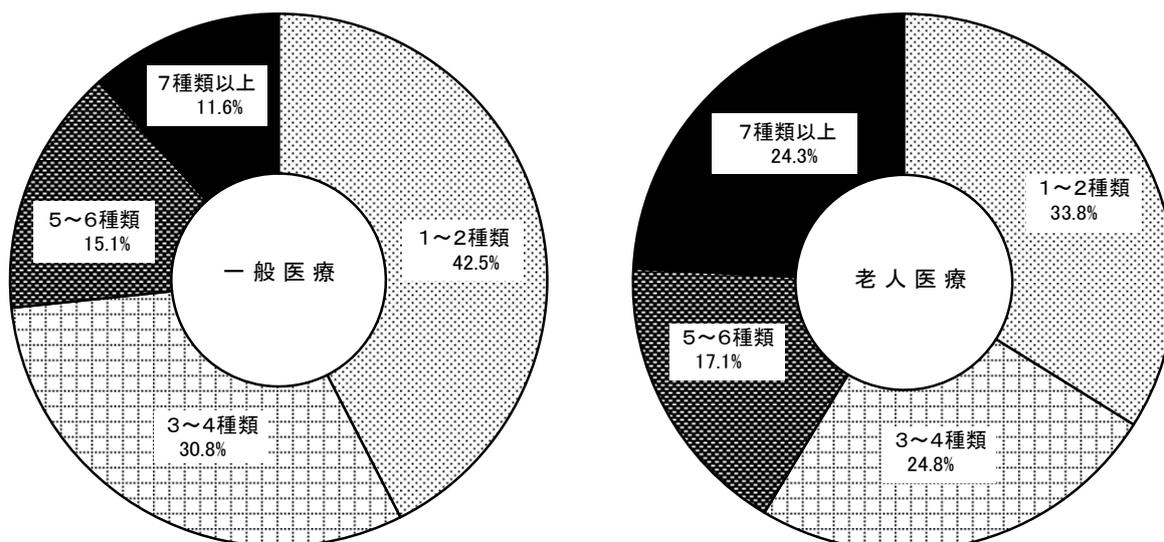
1件当たり薬剤種類数をみると、一般医療3.54、老人医療4.63となっている。(表21、図16)

表21 一般医療 - 老人医療 - 年齢階級別にみた薬剤種類数別件数の構成割合・1件当たり薬剤種類数 (薬局調剤)

		総数	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類	6種類	7種類	8種類	9種類	10種類以上	1件当たり薬剤種類数	
													1件当たり薬剤種類数に占める後発医薬品の種類数(再掲)	
総数		100.0 (100.0)	19.9 (19.4)	20.2 (20.1)	16.6 (16.5)	12.6 (12.6)	9.2 (9.4)	6.5 (6.8)	4.6 (4.9)	3.3 (3.3)	2.3 (2.2)	4.9 (4.8)	3.84 (3.86)	0.57 (0.57)
一般医療		100.0 (100.0)	21.3 (20.8)	21.1 (21.2)	17.6 (17.5)	13.2 (13.1)	9.1 (9.3)	6.0 (6.3)	4.0 (4.3)	2.6 (2.7)	1.7 (1.6)	3.2 (3.2)	3.54 (3.56)	0.51 (0.51)
老人医療		100.0 (100.0)	16.0 (15.6)	17.7 (17.3)	13.9 (14.0)	10.9 (11.5)	9.4 (9.7)	7.7 (7.9)	6.1 (6.4)	4.9 (4.9)	3.9 (3.7)	9.3 (8.8)	4.63 (4.59)	0.75 (0.75)
年齢階級	0～14歳	100.0	17.3	17.4	16.7	14.7	11.8	8.5	4.9	3.6	2.1	3.1	3.88	0.65
	15～39歳	100.0	22.2	22.3	18.5	13.9	9.3	5.1	3.5	1.9	1.2	2.2	3.31	0.45
	40～69歳	100.0	22.6	22.1	17.7	12.4	8.2	5.6	3.7	2.4	1.6	3.6	3.49	0.48
	70～79歳	100.0	17.8	19.1	14.7	11.9	9.1	6.9	5.7	4.2	3.4	7.2	4.28	0.67
	80歳以上	100.0	14.6	16.4	13.5	10.3	9.6	8.3	6.6	5.5	4.3	10.9	4.88	0.81

注: 1) 薬剤名無記載は、1種類としている。
 2) 「総数」、「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。
 3) ()内は平成16年6月審査分

図16 一般医療 - 老人医療別にみた薬剤種類数別件数の構成割合 (薬局調剤)
(平成17年6月審査分)



9 薬効分類別にみた薬剤使用の状況

一般医療、老人医療別にみると薬効分類別薬剤点数の構成割合は、一般医療、老人医療とも「循環器官用薬」が最も多く、それぞれ25.1%、29.1%となっている(表22)。

「循環器官用薬」を年齢階級別にみると、「40～69歳」が48.2%、「70～79歳」が33.2%となっている(表23)。

表22 一般医療 - 老人医療別にみた薬効分類別薬剤点数の構成割合(薬局調剤)

	(単位:%)		(平成17年6月審査分)				
	総数		一般医療	老人医療		後発医薬品 (再掲)	
総数	100.0	(100.0)	100.0	(100.0)	100.0	(100.0)	100.0
中枢神経系用薬	9.6	(10.1)	9.6	(10.4)	9.5	(9.5)	5.0
感覚器官用薬	4.7	(4.4)	4.3	(4.0)	5.3	(5.2)	9.8
循環器官用薬	26.7	(25.4)	25.1	(23.0)	29.1	(29.0)	14.9
呼吸器官用薬	3.4	(3.5)	4.0	(4.2)	2.3	(2.3)	5.5
消化器官用薬	9.6	(9.7)	8.7	(8.8)	11.1	(11.0)	13.4
ホルモン剤	2.0	(2.5)	2.2	(3.1)	1.7	(1.7)	1.7
外皮用薬	4.7	(4.7)	4.5	(4.4)	5.1	(5.1)	5.8
ビタミン剤	2.4	(2.5)	1.9	(1.9)	3.3	(3.4)	21.1
滋養強壮薬	1.2	(1.3)	1.0	(1.1)	1.6	(1.7)	0.4
血液・体液用薬	5.2	(4.8)	4.2	(3.7)	6.7	(6.4)	6.6
その他の代謝性医薬品	7.8	(7.7)	8.1	(8.1)	7.4	(7.0)	5.8
腫瘍用薬	4.5	(4.7)	4.6	(4.7)	4.4	(4.8)	0.8
アレルギー用薬	6.0	(5.5)	7.8	(7.2)	3.2	(3.0)	3.7
抗生物質製剤	3.2	(3.7)	4.6	(5.4)	1.0	(1.0)	0.7
化学療法剤	3.5	(3.7)	4.6	(4.9)	1.7	(1.9)	3.5
その他の薬効	5.4	(5.7)	4.9	(4.9)	6.3	(6.9)	1.5

注:1)「総数」には、薬剤名無記載を含む。

2) ()内は平成16年6月審査分

3)「血液・体液用薬」は、生理食塩液等を指す。

4)「その他の薬効」には、上記分類以外の「泌尿生殖器官及び肛門用薬」等の分類を含む。

表23 主な薬効分類別にみた年齢階級別薬剤点数の構成割合(薬局調剤)

	(単位:%)		(平成17年6月審査分)					
	総数		年齢階級					後発医薬品 (再掲)
			0～14歳	15～39歳	40～69歳	70～79歳	80歳以上	
中枢神経系用薬	100.0		1.0	18.3	37.7	26.6	16.3	2.5
感覚器官用薬	100.0		5.5	9.1	34.5	31.6	19.3	9.8
循環器官用薬	100.0		0.0	1.6	48.2	33.2	16.9	2.6
呼吸器官用薬	100.0		26.7	13.1	29.4	19.6	11.2	7.7
消化器官用薬	100.0		0.7	7.4	39.8	32.6	19.5	6.5
ホルモン剤	100.0		5.7	10.8	45.5	27.1	10.9	3.8
外皮用薬	100.0		4.6	13.6	33.0	31.3	17.5	5.8
ビタミン剤	100.0		0.3	5.3	33.3	38.5	22.6	40.4
滋養強壮薬	100.0		1.6	12.7	29.4	33.9	22.4	1.5
血液・体液用薬	100.0		3.2	4.2	34.8	36.9	20.8	5.9
その他の代謝性医薬品	100.0		1.4	6.4	47.0	31.9	13.3	3.5
腫瘍用薬	100.0		0.0	1.5	51.7	33.0	13.8	0.8
アレルギー用薬	100.0		19.4	21.5	35.0	16.0	8.1	3.0
抗生物質製剤	100.0		37.3	22.4	25.4	9.8	5.0	1.1
化学療法剤	100.0		4.8	22.7	50.0	15.5	7.0	4.6

注:1)「総数」には、年齢不詳を含む。

2)「血液・体液用薬」は、生理食塩液等を指す。

第3表 入院の件数・診療実日数、病院 - 診療所（有床）・一般医療 - 老人医療別

(単位:千)

(平成17年6月審査分)

	病 院					診療所 (有床)
	総 数	精 神 病 院	特 定 機 能 病 院	療 養 病 床 を 有 す る 病 院	一 般 病 院	
件 数						
総 数	1 897	191	106	583	1 017	129
一 般 医 療	992	134	79	181	598	69
老 人 医 療	905	57	28	402	419	60
診療実日数						
総 数	32 179	5 524	1 373	11 979	13 302	1 629
一 般 医 療	14 736	3 874	982	2 938	6 942	547
老 人 医 療	17 443	1 649	391	9 042	6 360	1 082

注：病院の「総数」には、結核療養所を含む。

第4表 入院の診療行為別点数、病院 - 診療所（有床）・一般医療 - 老人医療別

(単位:千)

(平成17年6月審査分)

診 療 行 為	病 院					診 療 所 (有床)
	総 数	精 神 病 院	特 定 機 能 病 院	療 養 病 床 を 有 す る 病 院	一 般 病 院	
総 数						
総 数	74 062 306	5 987 068	5 702 876	22 686 856	39 684 868	2 075 170
・ 再 診	95 530	1 039	5 526	24 361	64 602	3 537
指 導 管 理 等	650 064	29 817	34 568	172 272	413 400	17 088
在 宅 医 療	117 554	15	8 173	26 736	82 630	3 896
検 査 診 断	3 461 492	81 158	104 763	761 136	2 514 389	138 107
画 像 診 断	2 050 916	16 615	37 428	515 539	1 481 320	45 387
投 薬	1 605 786	230 962	61 744	359 632	953 419	75 053
注 射	5 146 625	51 112	135 332	1 403 134	3 556 995	169 443
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	1 783 345	4 787	36 689	986 198	755 671	29 362
精 神 科 専 門 療 法	335 492	259 261	4 039	36 830	35 361	791
処 置	2 099 156	29 946	50 015	757 371	1 261 734	146 423
手 術	8 218 947	327	1 111 656	1 077 438	6 029 521	388 601
麻 酔	1 397 147	13	173 858	198 544	1 024 732	44 815
放 射 線 治 療	335 369	-	67 171	55 774	212 424	10
入 院 料 等	42 176 568	5 281 837	529 566	16 183 114	20 181 653	1 012 621
診 断 群 分 類 に よ る 包 括 評 価 等	4 587 849	-	3 342 333	128 603	1 116 913	-
一 般 医 療						
総 数	36 553 512	4 210 820	4 080 821	6 448 881	21 812 856	864 086
・ 再 診	58 815	913	4 248	12 203	41 451	2 427
指 導 管 理 等	357 968	25 839	24 581	68 754	238 791	12 066
在 宅 医 療	45 196	-	5 454	4 136	35 605	1 061
検 査 診 断	1 742 615	59 597	73 816	275 266	1 333 921	69 897
画 像 診 断	1 019 828	11 780	24 322	200 144	783 577	17 841
投 薬	890 474	185 540	43 332	143 815	517 781	25 848
注 射	2 435 718	26 529	107 422	415 834	1 885 931	66 230
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	686 018	3 990	21 587	336 613	323 829	9 899
精 神 科 専 門 療 法	252 083	198 876	3 413	23 304	26 489	467
処 置	756 091	9 042	22 663	179 079	545 308	36 773
手 術	4 896 183	-	768 632	526 193	3 601 358	238 500
麻 酔	969 866	13	137 761	115 295	716 797	32 218
放 射 線 治 療	246 016	-	46 917	55 729	143 370	-
入 院 料 等	19 078 246	3 688 629	381 100	4 018 165	10 990 250	350 836
診 断 群 分 類 に よ る 包 括 評 価 等	3 118 236	-	2 415 561	74 319	628 356	-
老 人 医 療						
総 数	37 508 794	1 776 248	1 622 055	16 237 975	17 872 012	1 211 085
・ 再 診	36 714	126	1 279	12 158	23 152	1 110
指 導 管 理 等	292 095	3 978	9 987	103 518	174 609	5 023
在 宅 医 療	72 359	15	2 718	22 599	47 026	2 836
検 査 診 断	1 718 877	21 561	30 946	485 870	1 180 468	68 210
画 像 診 断	1 031 088	4 836	13 105	315 395	697 743	27 546
投 薬	715 312	45 422	18 412	215 817	435 638	49 205
注 射	2 710 907	24 583	27 910	987 300	1 671 064	103 213
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	1 097 326	797	15 102	649 585	431 842	19 462
精 神 科 専 門 療 法	83 409	60 385	626	13 526	8 872	324
処 置	1 343 065	20 905	27 353	578 292	716 427	109 650
手 術	3 322 764	327	343 024	551 245	2 428 163	150 101
麻 酔	427 281	-	36 098	83 249	307 935	12 597
放 射 線 治 療	89 353	-	20 255	44	69 054	10
入 院 料 等	23 098 322	1 593 208	148 466	12 164 949	9 191 404	661 785
診 断 群 分 類 に よ る 包 括 評 価 等	1 469 613	-	926 772	54 284	488 557	-
入院時食事療養(単位:千円)						
総 数	65 449 722	11 908 898	2 634 621	25 103 931	25 801 506	2 617 599
一 般 医 療	30 015 593	8 341 702	1 879 170	6 128 350	13 666 136	853 338
老 人 医 療	35 434 129	3 567 197	755 452	18 975 581	12 135 369	1 764 260

注：1) 病院の「総数」には、結核療養所を含む。

2) 「総数」には「入院時食事療養」を含まない。

第5表 入院外の件数・診療実日数、病院 - 診療所・一般医療 - 老人医療別

(単位:千) (平成17年6月審査分)

	病 院					診 療 所
	総 数	精 神 病 院	特 定 機 能 病 院	療 養 病 床 を 有 する 病 院	一 般 病 院	
件 数						
総 数	22 309	531	1 565	6 165	14 049	45 040
一般医療	15 418	438	1 192	3 906	9 882	34 747
老人医療	6 891	92	373	2 259	4 167	10 294
診療実日数						
総 数	36 471	1 112	2 058	11 993	21 308	88 371
一般医療	24 012	929	1 578	6 803	14 703	61 651
老人医療	12 459	183	480	5 191	6 605	26 720

注: 病院の「総数」には、結核療養所を含む。

第6表 入院外の診療行為別点数、病院 - 診療所・一般医療 - 老人医療別

(単位:千) (平成17年6月審査分)

診 療 行 為	病 院					診 療 所
	総 数	精 神 病 院	特 定 機 能 病 院	療 養 病 床 を 有 する 病 院	一 般 病 院	
総 数						
総 数	32 301 402	886 014	2 363 486	8 865 377	20 186 406	52 450 224
初診	3 951 495	83 951	191 927	1 294 011	2 381 595	12 168 217
再診	1 468 340	19 321	67 323	494 107	887 583	6 525 787
指導管理	1 790 828	3 193	216 395	339 726	1 231 505	1 782 603
在宅医療	6 471 066	31 910	621 556	1 366 360	4 451 224	7 014 935
検査	4 185 089	5 544	352 637	884 387	2 942 514	1 474 133
画像診断	7 409 383	296 733	464 544	2 573 513	4 074 523	11 860 514
投薬	2 414 606	6 431	238 705	482 989	1 686 479	2 173 794
注射	392 183	235	8 356	178 905	204 687	400 710
リハビリテーション	711 846	437 883	36 475	97 756	139 732	1 038 828
精神科専門療法	2 480 733	304	45 080	935 261	1 500 089	6 770 105
処置	751 376	119	67 380	180 121	503 756	1 034 324
手術	71 015	387	7 526	30 997	32 103	204 124
麻酔	202 932	-	45 020	7 244	150 669	90
放射線治療	560	-	560	-	-	2 100
入院料等						
一 般 医 療						
総 数	21 035 383	738 731	1 777 200	4 962 283	13 557 098	35 248 783
初診	2 903 196	71 174	154 809	853 779	1 823 428	9 262 228
再診	940 586	14 480	50 333	288 746	587 024	4 394 725
指導管理	1 022 696	1 173	170 070	109 736	741 712	574 431
在宅医療	4 609 587	25 575	481 156	854 362	3 248 486	5 062 270
検査	2 863 821	1 821	253 694	560 208	2 048 095	1 048 572
画像診断	4 448 338	248 933	342 405	1 335 244	2 521 714	7 726 585
投薬	1 487 583	5 601	153 174	195 804	1 133 002	1 123 055
注射	235 789	140	6 811	96 121	132 716	210 914
リハビリテーション	585 669	369 410	31 879	63 832	120 549	898 473
精神科専門療法	1 210 348	72	34 861	461 166	714 249	4 127 926
処置	554 911	117	59 039	128 712	367 043	722 167
手術	31 671	234	5 276	12 545	13 617	96 828
麻酔	140 681	-	33 134	2 030	105 518	89
放射線治療	560	-	560	-	-	560
入院料等						
老 人 医 療						
総 数	11 266 018	147 282	586 285	3 903 094	6 629 308	17 201 442
初診	1 048 298	12 778	37 119	440 232	558 167	2 905 989
再診	527 754	4 841	16 990	205 362	300 559	2 131 062
指導管理	768 131	2 020	46 325	229 991	489 793	1 208 172
在宅医療	1 861 479	6 335	140 400	511 999	1 202 738	1 952 665
検査	1 321 268	3 723	98 943	324 179	894 419	425 561
画像診断	2 961 045	47 800	122 139	1 238 268	1 552 809	4 133 928
投薬	927 024	830	85 531	287 185	553 477	1 050 738
注射	156 394	94	1 545	82 784	71 971	189 796
リハビリテーション	126 176	68 474	4 595	33 924	19 183	140 356
精神科専門療法	1 270 385	232	10 219	474 095	785 840	2 642 179
処置	196 464	1	8 342	51 409	136 713	312 157
手術	39 343	154	2 250	18 453	18 487	107 296
麻酔	62 251	-	11 886	5 214	45 151	1
放射線治療	-	-	-	-	-	1 540
入院料等						

注: 病院の「総数」には、結核療養所を含む。

第7表 入院の診療行為別1件当たり点数・1日当たり点数の年次推移

(各年6月審査分)

診療行為	1件当たり点数					1日当たり点数				
	平成13年 (2001)	14 (2002)	15 (2003)	16 (2004)	17 (2005)	平成13年 (2001)	14 (2002)	15 (2003)	16 (2004)	17 (2005)
総数	34 414.9	33 554.6	34 538.5	35 866.7	37 583.2	2 064.1	2 097.2	2 178.2	2 167.3	2 252.1
初・再診	51.7	55.0	54.3	49.0	48.9	3.1	3.4	3.4	3.0	2.9
指導管理等	301.9	322.1	343.8	311.0	329.3	18.1	20.1	21.7	18.8	19.7
在宅医療	53.2	49.3	59.8	55.8	60.0	3.2	3.1	3.8	3.4	3.6
検査	2 073.9	2 019.9	2 109.7	1 790.2	1 776.8	124.4	126.2	133.1	108.2	106.5
画像診断	1 185.9	1 192.5	1 212.2	1 025.9	1 034.8	71.1	74.5	76.5	62.0	62.0
投薬	848.3	896.7	896.6	811.0	829.7	50.9	56.0	56.5	49.0	49.7
注射	2 497.0	2 478.0	2 508.7	2 270.7	2 624.1	149.8	154.9	158.2	137.2	157.2
リハビリテーション	745.8	573.7	710.6	875.0	894.8	44.7	35.9	44.8	52.9	53.6
精神科専門療法	155.5	162.3	167.3	186.2	166.0	9.3	10.1	10.6	11.2	9.9
処置	1 010.3	1 031.6	967.3	1 093.6	1 108.5	60.6	64.5	61.0	66.1	66.4
手術	4 060.7	3 725.4	3 899.7	4 096.2	4 248.9	243.5	232.8	245.9	247.5	254.6
麻酔	630.5	576.0	620.3	598.1	711.8	37.8	36.0	39.1	36.1	42.7
放射線治療	117.5	151.6	144.4	88.4	165.6	7.0	9.5	9.1	5.3	9.9
入院料等	20 682.5	20 320.3	20 542.7	21 047.0	21 319.2	1 240.5	1 270.1	1 295.5	1 271.8	1 277.5
診断群分類 による包括評価等	-	-	300.8	1,568.6	2 264.7	-	-	19.0	94.8	135.7
入院時食事療養 (単位:円)	33 619	32 243	31 953	33 409	33 600	2 016	2 015	2 015	2 019	2 013

注:「総数」には「入院時食事療養」を含まない。

第8表 入院外の診療行為別1件当たり点数・1日当たり点数の年次推移

(各年6月審査分)

診療行為	1件当たり点数					1日当たり点数				
	平成13年 (2001)	14 (2002)	15 (2003)	16 (2004)	17 (2005)	平成13年 (2001)	14 (2002)	15 (2003)	16 (2004)	17 (2005)
総数	1 326.0	1 266.2	1 251.8	1 276.3	1 258.4	633.8	629.5	635.1	680.6	678.9
初・再診	257.5	240.5	238.4	237.7	239.3	123.1	119.6	121.0	126.8	129.1
指導管理等	159.0	161.7	125.1	126.8	118.7	76.0	80.4	63.4	67.6	64.0
在宅医療	58.9	64.3	59.9	56.3	53.1	28.2	32.0	30.4	30.0	28.6
検査	200.1	195.4	201.1	202.7	200.2	95.6	97.1	102.0	108.1	108.0
画像診断	83.1	86.7	84.2	81.4	84.0	39.7	43.1	42.7	43.4	45.3
投薬	334.1	295.2	302.3	288.3	286.1	159.7	146.8	153.4	153.7	154.4
注射	60.0	57.5	68.6	64.4	68.1	28.7	28.6	34.8	34.4	36.8
リハビリテーション	14.4	10.6	10.4	11.2	11.8	6.9	5.3	5.3	6.0	6.4
精神科専門療法	18.1	18.4	19.4	25.1	26.0	8.6	9.1	9.8	13.4	14.0
処置	95.7	102.1	112.3	147.8	137.4	45.8	50.8	57.0	78.8	74.1
手術	37.6	27.7	23.4	25.0	26.5	18.0	13.8	11.9	13.3	14.3
麻酔	4.3	4.5	4.5	6.2	4.1	2.1	2.2	2.3	3.3	2.2
放射線治療	3.2	1.5	1.9	3.3	3.0	1.5	0.7	1.0	1.7	1.6

注:「総数」には「入院料等(短期滞在手術基本料1)」を含む。

第9表 入院 - 入院外・一般医療 - 老人医療別にみた傷病分類別1件当たり点数

(平成17年6月審査分)

傷病分類	入 院		入 院 外	
	一般医療	老人医療	一般医療	老人医療
総 数	35 280.3	40 113.5	1 122.0	1 656.5
I 感染症及び寄生虫症	22 647.7	43 109.4	1 000.0	1 247.8
II 新生物	45 208.7	45 901.0	2 418.3	2 853.0
気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	50 111.3	44 018.6	3 356.3	3 221.1
乳房の悪性新生物 (再掲)	37 213.1	37 723.5	4 076.9	2 800.7
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	31 476.7	42 902.1	1 350.8	1 676.5
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	32 817.9	35 427.8	1 381.8	1 707.3
糖尿病 (再掲)	32 938.5	36 241.3	1 556.5	1 907.1
V 精神及び行動の障害	30 882.2	33 218.4	1 173.3	1 357.8
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 (再掲)	31 213.3	30 032.3	1 774.9	1 327.3
VI 神経系の疾患	40 148.8	40 706.8	1 060.8	1 498.0
VII 眼及び付属器の疾患	31 301.7	30 642.3	689.3	787.8
白内障 (再掲)	26 879.9	28 162.7	808.9	761.9
VIII 耳及び乳様突起の疾患	29 576.2	22 734.0	804.1	878.7
IX 循環器系の疾患	49 490.5	42 649.3	1 149.8	1 470.0
高血圧性疾患 (再掲)	30 936.4	33 429.2	1 101.9	1 417.1
虚血性心疾患 (再掲)	66 449.9	41 154.3	1 282.4	1 662.3
脳梗塞 (再掲)	48 167.5	41 237.0	1 404.7	1 530.9
X 呼吸器系の疾患	23 166.4	37 514.0	759.1	1 839.5
肺炎 (再掲)	25 766.4	38 128.8	1 564.4	2 092.7
急性気管支炎及び急性細気管支炎 (再掲)	15 186.1	23 182.4	761.9	872.8
喘息 (再掲)	17 587.0	29 497.9	928.9	1 887.0
X I 消化器系の疾患	30 957.5	32 972.6	1 182.5	1 417.7
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	30 951.5	45 433.6	605.0	667.5
皮膚炎及び湿疹 (再掲)	27 244.4	39 284.0	557.1	566.9
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	39 077.6	38 129.5	1 042.9	1 360.7
関節症 (再掲)	62 592.6	43 029.8	1 144.1	1 392.7
X IV 尿路性器系の疾患	33 618.4	45 957.2	3 752.3	7 188.7
腎不全 (再掲)	55 912.5	55 656.1	31 642.2	28 994.8
尿路結石症 (再掲)	21 789.1	37 785.4	1 609.3	1 463.3
X V 妊娠、分娩及び産じょく	15 599.9	-	977.5	-
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	35 922.1	40 586.9	1 141.6	1 361.8
骨折 (再掲)	40 423.9	41 605.7	1 525.9	1 410.4
その他の傷病	32 709.4	23 889.5	961.2	1 224.5

注:1) 傷病分類は、「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正」(ICD-10)を準用した。

2) 「その他の傷病」は、「周産期に発生した病態」「先天奇形、変形及び染色体異常」及び「症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの」である。

(歯科診療)

第10表 歯科の件数・診療実日数、一般医療 - 老人医療別

(単位:千)

(平成17年6月審査分)

	総 数	一 般 医 療	老 人 医 療
件 数	13 081	11 398	1 683
診 療 実 日 数	29 753	25 527	4 226

第11表 歯科の診療行為別点数、一般医療 - 老人医療別

(単位:千)

(平成17年6月審査分)

診 療 行 為	総 数	一 般 医 療	老 人 医 療
総 数	17 825 079	15 026 781	2 798 297
初 ・ 再 診	2 527 625	2 183 185	344 440
指 導 管 理 等	1 481 325	1 274 933	206 393
在 宅 医 療	96 674	20 213	76 461
検 査	989 543	888 216	101 327
画 像 診 断	639 688	578 236	61 452
投 薬 射	331 960	291 418	40 541
注 射	20 198	16 060	4 137
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	2 271	1 533	738
処 置	2 886 424	2 582 185	304 239
手 術	593 450	525 552	67 898
麻 酔	46 996	43 782	3 214
放 射 線 治 療	2 374	1 357	1 017
歯 冠 修 復 及 び 欠 損 補 綴	8 093 089	6 529 550	1 563 539
歯 科 矯 正	12 180	12 180	-
入 院 料 等	101 187	78 287	22 899
入院時食事療養(単位:千円)	112 982	86 883	26 099

注:「総数」には「入院時食事療養」を含まない。

第12表 歯科の診療行為別1件当たり点数・1日当たり点数の年次推移

(各年6月審査分)

診 療 行 為	1 件 当 たり 点 数					1 日 当 たり 点 数				
	平成13年 (2001)	14 (2002)	15 (2003)	16 (2004)	17 (2005)	平成13年 (2001)	14 (2002)	15 (2003)	16 (2004)	17 (2005)
総 数	1 480.0	1 384.9	1 452.6	1 401.2	1 362.7	615.0	593.4	595.6	618.0	599.1
初 ・ 再 診	170.1	179.6	188.2	191.9	193.2	70.7	77.0	77.2	84.7	85.0
指 導 管 理 等	104.4	101.6	105.1	114.8	113.2	43.4	43.5	43.1	50.6	49.8
在 宅 医 療	6.2	7.4	17.0	13.4	7.4	2.6	3.2	7.0	5.9	3.2
検 査	69.8	75.2	76.5	75.8	75.6	29.0	32.2	31.4	33.4	33.3
画 像 診 断	46.6	49.2	47.9	49.7	48.9	19.3	21.1	19.6	21.9	21.5
投 薬 射	27.4	23.7	25.8	26.6	25.4	11.4	10.1	10.6	11.7	11.2
注 射	1.3	1.2	1.5	1.3	1.5	0.5	0.5	0.6	0.6	0.7
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	0.2	0.4	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1
処 置	221.6	213.3	226.6	215.7	220.7	92.1	91.4	92.9	95.1	97.0
手 術	55.6	52.7	54.9	53.3	45.4	23.1	22.6	22.5	23.5	19.9
麻 酔	3.7	3.4	4.0	3.4	3.6	1.5	1.4	1.6	1.5	1.6
放 射 線 治 療	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
歯 冠 修 復 及 び 欠 損 補 綴	764.6	667.7	693.9	646.3	618.7	317.7	286.1	284.5	285.1	272.0
歯 科 矯 正	1.1	0.5	0.4	1.8	0.9	0.5	0.2	0.2	0.8	0.4
入 院 料 等	7.2	9.1	10.5	6.9	7.7	3.0	3.9	4.3	3.1	3.4

第13表 一般医療 - 老人医療別にみた傷病分類別1件当たり点数

(平成17年6月審査分)

傷病分類	一般医療	老人医療
総数	1 318.4	1 663.0
むしば	1 211.8	1 785.0
歯髄炎等	1 617.1	2 219.5
歯根膜炎等	1 404.2	2 036.2
歯周炎等	1 137.2	1 023.8
顎の疾患・口内炎等	1 648.1	1 546.0
歯の補綴	2 239.4	1 989.4
その他の傷病	833.2	982.1

- 注：1) 傷病分類は、「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回改正」(ICD-10)を準用した。
 2) 「その他の傷病」は、「歯肉炎等」「その他の歯の疾患」「智歯周囲炎等」「褥瘡性潰瘍等」である。

(薬剤料の比率)

第14-1表 一般医療 - 老人医療、病院 - 診療所、医科 (入院 - 入院外) - 歯科 - 薬局 調剤別薬剤料の比率

(単位:%) (平成17年6月審査分)

		総数			一般医療			老人医療			
		総数	病院	診療所	総数	病院	診療所	総数	病院	診療所	
医科		総数									
		薬剤料	22.1 (21.6)	19.2 (18.2)	28.9 (29.4)	21.7 (21.5)	19.0 (18.3)	26.8 (28.0)	22.8 (21.7)	19.5 (18.1)	33.2 (31.7)
		投薬・注射	19.8	16.6	27.3	19.1	16.1	25.1	20.7	17.2	31.5
		投薬	13.9	9.4	24.3	14.1	9.8	22.7	13.5	8.9	27.5
		注射	5.9	7.2	2.9	5.0	6.3	2.4	7.2	8.3	4.0
		その他の薬剤料	2.4	2.7	1.7	2.5	3.0	1.7	2.1	2.3	1.7
		入院									
		薬剤料	12.3 (11.3)	12.2 (11.3)	13.1 (12.4)	11.6 (10.9)	11.7 (10.9)	10.4 (10.2)	13.0 (11.7)	12.9 (11.6)	15.4 (14.2)
		投薬・注射	10.4	10.4	10.5	9.7	9.8	8.2	11.1	11.1	12.4
		投薬	2.5	2.5	3.4	2.6	2.6	2.5	2.3	2.3	4.1
		注射	7.9	7.9	7.1	7.1	7.1	5.7	8.8	8.8	8.3
		その他の薬剤料	1.9	1.8	2.6	1.9	1.9	2.2	1.8	1.8	3.0
		入院外									
		薬剤料	33.5 (33.2)	38.9 (37.3)	30.0 (30.6)	30.7 (31.0)	35.7 (34.2)	27.5 (28.9)	39.3 (37.3)	45.2 (43.3)	35.1 (33.5)
		投薬・注射	30.6	34.0	28.3	27.6	30.3	25.9	36.7	41.2	33.6
投薬	27.0	29.0	25.7	24.5	25.9	23.6	32.1	35.1	30.1		
注射	3.6	5.0	2.6	3.1	4.4	2.2	4.6	6.1	3.5		
その他の薬剤料	2.9	4.9	1.6	3.1	5.4	1.6	2.6	4.1	1.6		
歯科	薬剤料	1.1	6.9	0.9	1.2	6.8	1.0	0.9	7.0	0.5	
薬局調剤	薬剤料	71.8	-	-	70.3	-	-	74.2	-	-	

注: 1) 「処方せん料」を算定している明細書、「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書及びDPCIに係る明細書は除外してある。
 2) 「薬剤料」とは、総点数に占める、「投薬」「注射」及びその他の診療行為の中の薬剤点数の割合である。
 3) 「その他の薬剤料」とは、総点数に占める、「在宅医療」「検査」「画像診断」「リハビリテーション」「精神科専門療法」「処置」「手術」及び「麻酔」の中で使用された薬剤点数の割合である。
 4) 入院時食事療養費(円)は、点数換算(入院時食事療養費÷10)して総点数に含めている。
 5) ()内は平成16年6月審査分

第14-2表 一般医療 - 老人医療、病院 - 診療所、医科・調剤 [医科分] (入院 - 入院外) - 歯科・調剤 [歯科分] 別薬剤料の比率

(単位:%) (平成17年6月審査分)

		総数			一般医療			老人医療			
		総数	病院	診療所	総数	病院	診療所	総数	病院	診療所	
医科・薬局調剤 [医科分]		総数									
		薬剤料	28.7 (27.5)	26.8 (25.6)	31.5 (30.4)	28.0 (27.1)	26.8 (25.7)	29.5 (29.1)	29.8 (28.0)	26.8 (25.4)	35.4 (32.7)
		投薬・注射	26.8	24.5	30.2	26.0	24.3	28.2	28.0	24.7	34.0
		投薬	21.7	17.8	27.5	21.6	18.1	26.1	21.9	17.4	30.3
		注射	5.1	6.7	2.7	4.4	6.2	2.1	6.1	7.4	3.7
		その他の薬剤料	1.9	2.3	1.3	2.0	2.5	1.3	1.8	2.1	1.4
		入院									
		薬剤料	12.3 (11.3)	12.2 (11.3)	13.1 (12.4)	11.6 (10.9)	11.7 (10.9)	10.4 (10.2)	13.0 (11.7)	12.9 (11.6)	15.4 (14.2)
		投薬・注射	10.4	10.4	10.5	9.7	9.8	8.2	11.1	11.1	12.4
		投薬	2.5	2.5	3.4	2.6	2.6	2.5	2.3	2.3	4.1
		注射	7.9	7.9	7.1	7.1	7.1	5.7	8.8	8.8	8.3
		その他の薬剤料	1.9	1.8	2.6	1.9	1.9	2.2	1.8	1.8	3.0
		入院外									
		薬剤料	37.0 (35.8)	44.4 (42.3)	32.0 (31.0)	34.7 (33.9)	42.1 (40.0)	29.8 (29.5)	41.5 (39.0)	48.3 (46.2)	36.3 (33.6)
		投薬・注射	35.1	41.5	30.8	32.7	38.9	28.6	39.7	45.8	35.0
投薬	31.5	36.3	28.2	29.4	33.7	26.6	35.5	40.6	31.5		
注射	3.6	5.2	2.5	3.3	5.2	2.0	4.2	5.2	3.5		
その他の薬剤料	1.9	2.9	1.3	2.0	3.2	1.2	1.8	2.5	1.3		
歯科・薬局調剤 [歯科分]	薬剤料	1.3	-	-	1.4	-	-	1.1	-	-	

注: 1) 「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書及びDPCIに係る明細書は除外してある。
 2) 薬局調剤分(調剤報酬明細書分)は、総点数、薬剤料を医科、歯科それぞれに合算している。
 3) 薬局調剤分(調剤報酬明細書分)の内服薬及び外用薬を「投薬」に、注射薬を「注射」に合算している。
 4) 「その他の薬剤料」とは、総点数に占める、「在宅医療」「検査」「画像診断」「リハビリテーション」「精神科専門療法」「処置」「手術」及び「麻酔」の中で使用された薬剤点数の割合である。
 5) 入院時食事療養費(円)は、点数換算(入院時食事療養費÷10)して総点数に含めている。
 6) ()内は平成16年6月審査分

(医科薬剤)

第15表 処方の状況(入院外)

(単位:%) (平成17年6月審査分)

	総数	院内処方	院外処方*	院内院外 両方	処方なし	包括点数 算定	1件当たり処方回数		
							院内処方 (回数)	院外処方 (回数)	
総数	100.0 (100.0)	37.6 (38.4)	44.6 (44.6)	0.4 (0.5)	15.1 (14.5)	2.3 (2.0)	1.51 (1.55)	1.42 (1.42)	
一般医療	100.0 (100.0)	36.7 (37.6)	43.1 (42.5)	0.4 (0.5)	16.9 (16.8)	2.9 (2.7)	1.43 (1.46)	1.36 (1.37)	
老人医療	100.0 (100.0)	40.3 (40.4)	49.1 (49.9)	0.4 (0.5)	9.7 (8.8)	0.5 (0.4)	1.71 (1.75)	1.57 (1.55)	
年齢階級	0～14歳	100.0	29.8	39.6	0.6	17.2	12.8	1.38	1.44
	15～39歳	100.0	35.2	40.3	0.4	23.9	0.1	1.30	1.30
	40～69歳	100.0	39.1	45.0	0.3	14.6	0.9	1.48	1.35
	70～79歳	100.0	40.6	48.7	0.3	9.9	0.4	1.65	1.50
	80歳以上	100.0	40.4	48.9	0.6	9.2	0.9	1.75	1.65

注:1) *は全明細書に対する「処方せん料」が算定されている明細書の割合である。
2) ()内は平成16年6月審査分

(薬局調剤)

第16表 件数・処方せん受付回数・総点数、一般医療 - 老人医療・
処方せん発行医療機関別

(単位:千) (平成17年6月審査分)

	件数	受付回数	総点数
総数	32 696	46 781	31 448 293
病院	10 453	13 820	14 176 887
一般診療所	21 878	32 508	17 179 105
歯科単科病院及び歯科診療所	365	453	92 302
一般医療	23 622	32 466	19 510 354
病院	6 999	8 911	8 340 961
一般診療所	16 305	23 160	11 088 355
歯科単科病院及び歯科診療所	317	395	81 038
老人医療	9 074	14 315	11 937 940
病院	3 453	4 909	5 835 926
一般診療所	5 573	9 348	6 090 750
歯科単科病院及び歯科診療所	48	58	11 264

注:病院には病院併設歯科を含む。

第17表 調剤行為別点数、一般医療 - 老人医療別

(単位:千) (平成17年6月審査分)

調剤行為	総数	一般医療	老人医療
総数	31 448 293	19 510 354	11 937 940
調剤技術料	7 105 607	4 540 256	2 565 351
指導管理料	1 722 903	1 224 628	498 275
薬剤料	22 573 620	13 716 876	8 856 743
特定保険医療材料料	41 477	27 280	14 197

用語の定義

- 一般医療**： 疾病又は負傷に関して、保険医療機関又は保険薬局において受けた療養の給付をいう（老人保健法の適用を受ける者を除く。）。
- 老人医療**： 老人保健法の適用を受ける者が疾病又は負傷に関して、保険医療機関又は保険薬局において受けた医療の給付をいう。
なお、平成14年老人保健法改正により、平成14年10月1日以降老人医療の受給対象年齢について、従来の「70歳以上」から「75歳以上」に5年間で段階的に引き上げることとされた。このため、平成17年5月現在における老人医療受給対象年齢は72歳以上（前年調査時では71歳以上）となる。
- 件数**： 明細書1枚を1件という。
なお、「診療報酬明細書（医科入院医療機関別包括評価用）」を総括表として、「診療報酬明細書（医科入院医療機関別包括評価用）」若しくは「医科入院明細書」が添付されている明細書は、総括表の単位で1件とした。
- 診療実日数（日数）**： 入院では当月中の入院日数をいい、入院外では当月中の外来、往診等で医師の診療を受けた日数をいう。
- 点数**： 各都道府県の支払基金支部及び国保団体連合会において審査決定された診療報酬点数及び調剤報酬点数をいう。
- 病院**：
- 精神病院** — 精神病床のみを有する病院
 - 結核療養所** — 結核病床のみを有する病院
 - 特定機能病院** — 高度の医療の提供、高度の医療技術の開発及び評価並びに高度の医療に関する研修を実施する能力を備え、かかる病院として適切な人員配置、構造設備等を有するとして厚生労働大臣の承認を受けた病院
 - 療養病床を有する病院** — 主として長期にわたり療養を必要とする患者を入院させる病床を有する病院
 - 一般病院** — 上記以外の病院
- 薬局調剤**： 健康保険法に基づく療養の給付の一環として、医療機関の保険医が患者に交付した処方せんに基づき、保険薬局において保険薬剤師が行う調剤業務をいう。
- 受付回数**： 保険薬局で当月中に処方せんを受け付けた回数をいう。

**「投薬」「注射」を
包括した診療行為** : 入院、入院外で次の診療行為をいう。

入院 — 「老人特定入院基本料」、「療養病棟入院基本料」、「有床診療所療養病床入院基本料」、「特殊疾患入院医療管理料」、「回復期リハビリテーション病棟入院料」、「亜急性期入院医療管理料」、「特殊疾患療養病棟入院料」、「緩和ケア病棟入院料」、「精神科救急入院料」、「精神科急性期治療病棟入院料」、「精神療養病棟入院料」、「老人一般病棟入院医療管理料」、「老人性痴呆疾患治療病棟入院料」、「老人性痴呆疾患療養病棟入院料」、「診療所老人医療管理料」及び「診断群分類による包括評価等」

入院外 — 「小児科外来診療料」、「生活習慣病指導管理料」、「寝たきり老人在宅総合診療料」及び「在宅末期医療総合診療料」

薬価 : 「薬価基準」に収載された価格

後発医薬品 : 診療報酬における後発医薬品使用環境整備の対象となる後発医薬品をいう。

薬剤名無記載 : 電算化が行われていないものとして届け出た保険医療機関及び保険薬局で所定単位（内服薬は1剤1日分、屯服薬は1回分、外用薬は1調剤分）当たりの薬価が175円以下（17点以下）で、明細書に個々の薬剤名の記載のないものをいう。

薬剤種類数 : 「薬価基準」に収載されている品名単位ごとに数えたものをいう。
なお、薬剤名無記載については1種類としている。

薬効分類 : 「日本標準商品分類」の「中分類87—医薬品及び関連製品」に準拠している。